教　育　要　覧

平成　２６　年度

井　手　町　教　育　委　員　会

井　手　町　住　民　憲　章

（昭和５２年１１月３日制定）

（前　　文）

私達住民は古くから数々の歌詩にうたわれてきた歴史と、これらを生んできた景勝の地に住むことを誇りとして、このまちを美しく豊かにするため、ここに、住民の総意で心の糧、行動の規範となる住民憲章を定めます。

そしてこの憲章は、みんなが自覚をもって実践し、永く平和なまちづくりの指標とするものであります。

（本　　文）

1　私たちは、明るく健康で住みよいまちを目指してみんなで力を合わせましょう。

2　私たちは、歴史と文化遺産を大切にしていついつまでも正しく伝えましょう。

3　私たちは、自然を愛し環境をよくして安らぎと生きがいのある生活を築きましょう。

4　私たちは、自由と平和を尊重して信頼に満ちた気風をつくりましょう。

5　私たちは、学び働くことを楽しみとしてあすを創る人々を育てましょう。

井　手　町　の　花

（昭和５２年１１月３日制定）

山　　吹

玉川と共に日本の古典史上広くうたわれ、天平以来のまちの歴史の中で住民の心の支えとなり、本町にゆかりが深いものである。

井　手　町　の　木

（昭和５２年１１月３日制定）

桧

材質がち密で耐久性に富み、幹が空に向かって直立する姿は、そのまま進展するまちを象徴するものである。

目　　　次

井手町の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

教育委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

保護者負担軽減の施策一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

事　務　局・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

教育委員会事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

学校別教職員数（職別・性別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

小・中学校児童生徒数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

教育行政沿革史・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

小中学校　児童・生徒数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

小中学校　児童・生徒数の推移見込・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

学校教育推進の重点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

学校教育関係の主な事業・取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

通学区域の指定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

井 手 小 学 校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

多 賀 小 学 校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

泉ヶ丘中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60

学校給食センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71

社会教育推進の重点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77

社会教育関係の主な事業・取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84

井手町立山吹ふれあいセンター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92

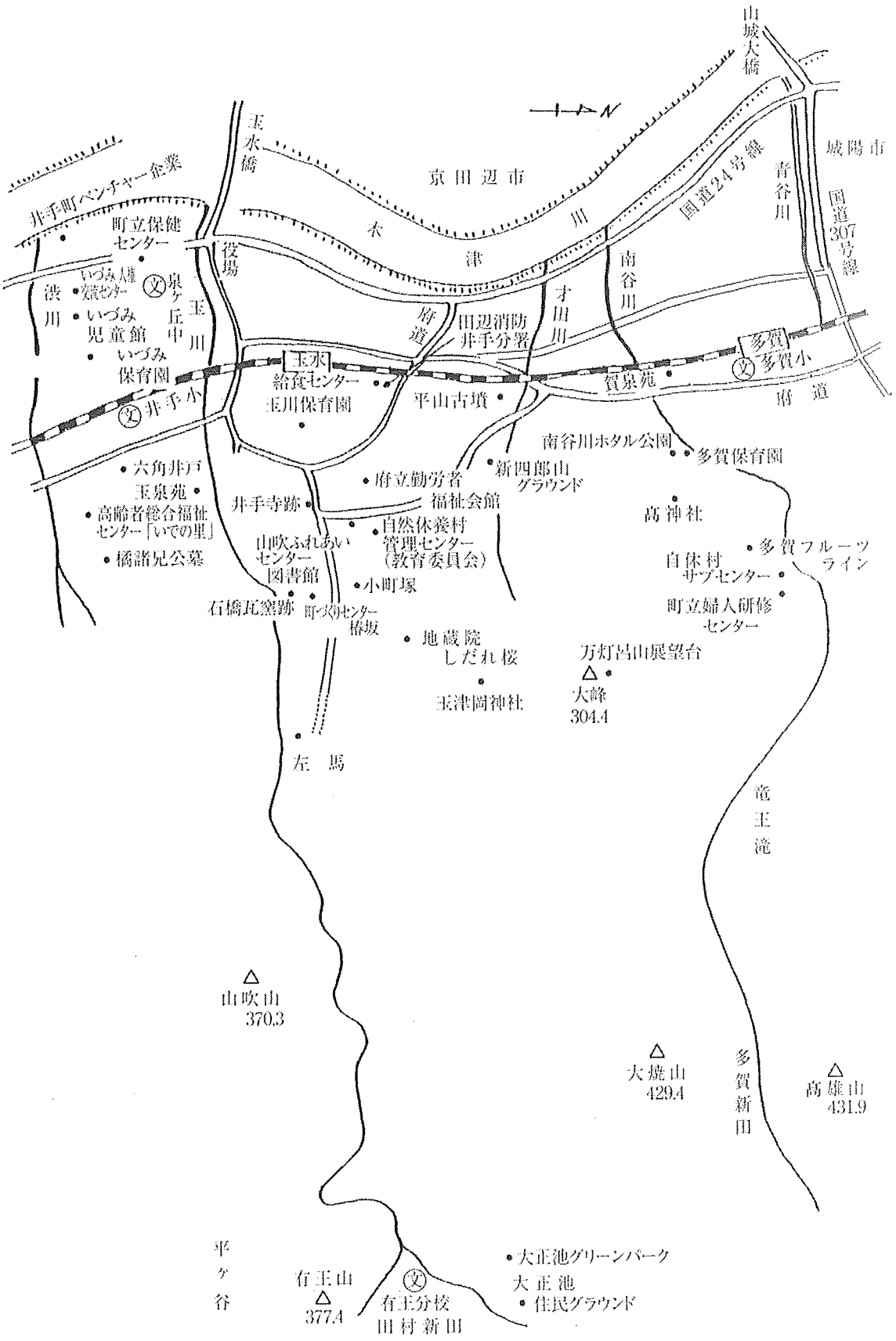
井手町立住民グラウンド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94

文　化　財・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95

関係機関等一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・100

井手町の概要

1 井手町全図

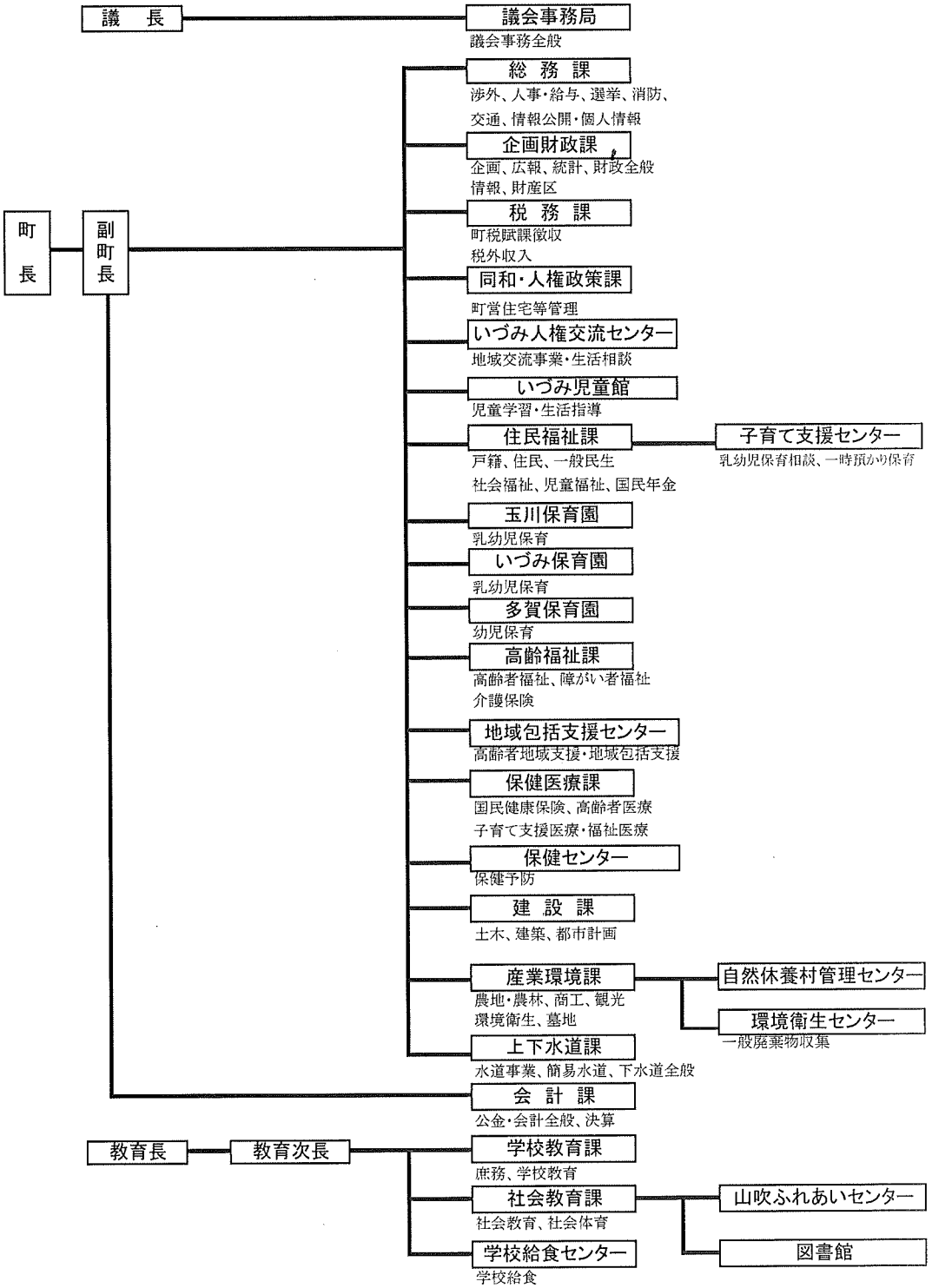


2　地区別人口、世帯数

住基人口（平成２６年４月末現在　平成２４年７月、住民基本台帳法改正により外国人含む）

区分	井手地区								多賀地区				合計
	玉水	水無	高月	上井手	有王	石垣	北	南	東部	西部	南部	北部	
人　口	1,073	606	420	393	27	1,104	1,140	868	649	324	698	654	7,956
世帯数	465	249	170	167	10	457	514	420	255	133	277	272	3,389

3　井手町行政組織図（平成２６年４月１日）



4　平成２６年度一般会計歳出予算額（当初予算）

（単位　千円）

款	予算額	構成比（%）	備考
1．議会費	62,542	1.7	
2．総務費	1,111,040	29.1	
3．民生費	992,228	26.0	
4．衛生費	310,426	8.1	
5．労働費	10	0.0	
6．農林水産業費	40,633	1.1	
7．商工費	38,801	1.0	
8．土木費	393,332	10.3	
9．消防費	229,074	6.0	
10．教育費	352,570	9.2	
11．災害復旧費	2,779	0.1	
12．公債費	276,065	7.2	
13．予備費	7,500	0.2	
歳出合計	3,817,000	100.0	

予算項目	予算額	比率
教育費総額	352,570	100.00
1．教育総務費	55,990	15.88
教育委員会費	1,992	
事務局費	53,998	
2．小学校費	51,926	14.73
学校管理費	37,545	
教育振興費	14,381	
3．中学校費	51,241	14.53
学校管理費	35,347	
教育振興費	15,894	
4．社会教育費	139,565	39.59
社会教育総務費	46,916	
文化財保護費	48,315	
山吹ふれあいセンター運営費	8,635	
図書館運営費	35,699	
5．保健体育費	53,848	15.27
保健体育総務費	9,170	
学校給食センター費	44,678	

教 育 委 員 会

(1) 事務局　〒610-0302　（学校教育課）

住 所　京都府綴喜郡井手町大字井手小字二本松 2-1

ＴＥＬ　0774—82—4333　ＦＡＸ　0774—82—5332

（社会教育課）

住 所　京都府綴喜郡井手町大字井手小字二本松 3-1

ＴＥＬ　0774—82—5700　ＦＡＸ　0774—82—5701

(2) 教 育 委 員

職　名	氏　名	委　員　歴
委　員　長	奥 西 康 人	H13. 7.26～　（H23.7.17～　委員長）
委員長職務代理	森 田 正 弘	H23. 4. 1～　（H26.7.18～　職務代理）
委　員	古 川 透 子	H21. 4. 1～
委　員	古 川 幸 子	H26. 6.29～
教　育　長	松 田　定	H21. 4. 1～

(3) 歴代教育委員長

氏　名	就　任	退　任	在任期間
森 田 常次郎	S33. 5.30 ～	S40. 5.29	7.0
岡 本 誠 一	S40. 7. 6 ～	S42. 7. 5	2.0
寺 島　繁	S42. 7. 6 ～	S43. 7. 4	1.0
十 川 健次郎	S43. 7. 5 ～	S44. 6.24	1.0
寺 島　繁	S44. 6.28 ～	S45. 6.27	1.0
十 川 健次郎	S45. 7. 1 ～	S46. 6.26	1.0
中 田 幹 雄	S46. 6.27 ～	S49. 6.26	3.0
仁 木 義 弘	S49. 6.27 ～	S58. 5. 3	9.0
丸 山　勉	S58. 5. 4 ～	H18. 6.28	23.0
小 川　一男	H18. 6.29 ～	H23. 7.16	5.0
奥 西 康 人	H23. 7.17 ～	現在	

(4) 歴代教育長

氏　名	就　任	退　任	在任期間
乾　善 司	S33. 6.28 ～	S41. 6.27	8.0
北 川 智 浩	S41. 6.29 ～	S52. 3.31	10.9
林　鎮 雄	S52. 4. 1 ～	S54. 7.20	2.3
森 岡　勇	S55. 4. 2 ～	S60. 8.31	5.5
宮 本 英 男	S61. 4. 2 ～	H10. 6.28	12.3
牧 野 久 夫	H10. 6.29 ～	H18. 6.28	8.0
木 下 惠三郎	H18. 6.29 ～	H21. 2.28	2.8
松 田　定	H21. 4. 1 ～	現在	

（5）　歴代教育委員

中　村　楢　信	S33. 5.30～S37. 5.30	森　岡　　勇	S55. 4. 2～S60. 8.31
山川新左衛門	S33. 5.30～S38. 6.27	天　野　一　郎	S55. 6.26～H13. 7.25
森　田　常次郎	S33. 5.30～S40. 5.29	上　島　義　美	S57. 6.25～S63. 6.26
乾　　善　司	S33. 5.30～S41. 6.27	栗　田　　茂	S58. 7.16～H 6. 1. 1
岡　本　誠　一	S33. 5.30～S43. 6.26	宮　本　英　男	S61. 4. 2～H10. 6.28
塚　本　庄　造	S37. 6.28～S41. 6.27	鷲　山　妙　子	S63. 6.27～H21. 3.31
鷲　山　美代子	S38. 6.28～S46. 6.26	小　川　一　男	H 6. 3.15～H23. 7.16
十　川　健次郎	S40. 6.25～S55. 6.25	牧　野　久　夫	H10. 6.29～H18. 6.28
寺　島　　繁	S41. 6.29～S49. 6.28	奥　西　康　人	H13. 7.26～ 現在
北　川　智　浩	S41. 6.29～S52. 3.31	森　田　直　美	H18. 6.29～H26. 6.28
中　田　幹　雄	S43. 6.27～S49. 6.26	木　下　惠三郎	H18. 6.29～H21. 2.28
仁　木　義　弘	S46. 7.17～S58. 5. 3	松　田　　定	H21. 4. 1～ 現在
古　川　　進	S49. 6.27～S57. 4.30	古　川　透　子	H21. 4. 1～ 現在
丸　山　　勉	S49. 6.29～H18. 6.28	森　田　正　弘	H23. 7. 17～ 現在
林　　鎮　雄	S52. 4. 1～S54. 7.20	古　川　幸　子	H26. 6.29～現在

（6）社会教育委員

氏　　名	職　名	就任年月日
西　田　和　正	委員長	H20.4.1
中　村　義　孝	委員長 職務代理	S53.4.1
窪　田　　継	委　員	H20.4.1
小　川　成　美	委　員	H21.4.1
奥　田　恭　子	委　員	H23.9.1
杉　山　　武	委　員	H24.4.1
北　澤　義　之	委　員	H26.4.1
中　谷　忠　樹	委　員	H26.4.1
脇　田　麻衣子	委　員	H26.4.1

（7）文化財保護審議会委員

氏　　名	職　名	就任年月日
山本元嗣	会　長	H 7. 4. 1
宮本敏雪	会長職務代理	H15. 4. 1
村田名良夫	委　員	H 7. 4. 1
村田照久	委　員	H 7. 4. 1
木田和代	委　員	H17. 4. 1
岡本東平	委　員	H22. 4. 1
鷲山詔子	委　員	H25. 4. 1

（8）スポーツ推進委員

氏　名	職　名	就任年月日
栗田　善嗣	委員長	S52.4.1
中田　邦和	副委員長	H16.4.1
古川　幸子	副委員長	H6.4.1
古川　裕計	委　員	S61.4.1
村田　忠文	委　員	H12.4.1
岩城　喜和	委　員	H9.4.1
横田　純一	委　員	H10.4.1
相川　尚美	委　員	H12.7.1
八木真知子	委　員	H16.4.1
寺村　勝彦	委　員	H21.4.1
西島　寛道	委　員	H21.4.1
田中　保美	委　員	H22.4.1
清水　敏継	委　員	H24.4.1

（9）学校給食センター運営委員

氏　名	職　名	組　織　区　分
西島　寛道	会　長	町議会議員 (総務・文教常任副委員長)
岩田　剛	監　査	町議会議員（副議長）
奥西　康人	委　員	教育委員（委員長）
中田　邦和	委　員	学校長（井手小）
山野　勉	委　員	学校長（多賀小）
北澤　義之	副会長	学校長（泉ヶ丘中）
乾　実沙紀	委　員	ＰＴＡ役員（井手小）
大木あゆみ	監　査	ＰＴＡ役員（多賀小）
小仲　英子	委　員	ＰＴＡ役員（泉ヶ丘中）
八木真知子	委　員	学識経験者
横田　友美	委　員	学識経験者

（１０）就学指導委員

氏　名	所　　属	氏　名	所　　属
飯田悦子	学識経験者	前原春香	担当保育士（いづみ保育園）
水野　寿	学校医代表	木村順子	担当保育士（多賀保育園）
中田邦和	校長（井手小学校）	井上里美	ＰＴＡ代表（井手小学校）
山野　勉	校長（多賀小学校）	金丸研二	ＰＴＡ代表（多賀小学校）
北澤義之	校長（泉ヶ丘中学校）	脇本和弘	ＰＴＡ代表（泉ヶ丘中学校）
藤林栄美子	園長（玉川保育園）	野村美樹	育友会代表（玉川保育園）
横田加代子	園長（いづみ保育園）	森島祥子	育友会代表（いづみ保育園）
原田世都子	園長（多賀保育園）	吉岡香織	育友会代表（多賀保育園）
髙井　博	担当教諭（井手小学校）	寺井　忍	保護者代表（保護者の会）
清水澄江	担当教諭（多賀小学校）	杉木真寿美	町保健師（町保健センター）
水野美佳	担当教諭（泉ヶ丘中学校）		
竹谷陽美	養護（井手小学校）	事務局	
吉村恵津子	養護（多賀小学校）	中島一也	町教育委員会（教育次長）
石本美津子	養護（泉ヶ丘中学校）	石浦喜人	町教育委員会(課長補佐兼指導主事)
中島寿代	担当保育士（玉川保育園）	中村　満	町教育委員会（指導主事）

保護者負担軽減の施策一覧表

事業名	学校	学年	対象	支給内容	備考
入学支度金	小学校	1年	1児童	2,000円	
	中学校	1年	1生徒	3,000円	
修学旅行援助費	小学校	6年	1児童	10,000円	
	中学校	2年	1生徒	20,000円	
通学援助費	小学校	5・6年	1児童	全額	有王地区児童
	中学校	全学年	1生徒	全額	多賀地区及び有王地区生徒
災害共済掛金（日本スポーツ振興センター）	小学校	全学年	1児童	共済掛金全額町補助	掛金945円
	中学校	全学年	1生徒	共済掛金全額町補助	掛金945円
給食援助費	小学校 中学校	全学年	—	1食 17円補助	
安全帽支給	小学校	1年	1児童	現物支給	
卒業記念品支給	小学校	6年	1児童	現物支給	
	中学校	3年	1生徒	現物支給	
選手派遣費補助	中学校	全学年	—	1,500,000円	
英検チャレンジ推進	中学校	全学年	1生徒	全額	

事　務　局

教育長	教育次長
松田　定	中島一也

学校教育課	課長	中島一也（兼務）
電話（82-4333）	課長補佐兼指導主事	石浦喜人
FAX（82-5332）	課長補佐	中谷誠
	指導主事：嘱託	中村満
	主事	石井美子
	外国語指導助手	ロバート・ラムノース
社会教育課	課長	高江裕之
電話（82-5700）	係長	木田ゆかり
FAX（82-5701）	派遣社会教育主事	大西裕哉
	文化財技師：嘱託	茨木敏仁
	社会教育指導員：嘱託	田村哲士
	社会教育指導員：嘱託	小林十寸夫
	社会教育指導員：嘱託	北浦暁
	社会教育指導員：嘱託	高田宗彦
	放課後児童クラブ：嘱託	山本千世子
山吹ふれあいセンター	所長	中島一也（兼務）
図書館	館長	高江裕之（兼務）
電話（82-5700）	副館長	杉本勝
FAX（82-5701）	主事	篠部直茂
	主事	鈴木浩史
学校給食センター	所長	藤崎裕司
電話（82-3617）	栄養教諭	和田千鈴
FAX（82-3617）	調理員：嘱託	亀田あさ子
	調理員：嘱託	今西裕子
泉ヶ丘中学校	校務技手：嘱託	頴娃ちか子
井手小学校	校務技手：嘱託	田中秀子
多賀小学校	校務技手：嘱託	古田紀子

教育委員会事務分掌

課	係	内　　容
学校教育課	庶　務　係	(1)　教育委員会の会議に関すること (2)　教育委員会規則の制定、改廃及び公布に関すること (3)　公印の保管に関すること (4)　公文書の保管、その他文書に関すること(受付を含む) (5)　教育委員の報酬及び費用弁償に関すること (6)　教育委員会の職員及び学校の職員の人事に関すること (7)　職員の服務及び健康管理に関すること (8)　職員の旅費に関すること (9)　職員及び学校教職員の人事事務に関すること (10)　広報に関すること (11)　教育委員会の所掌に係る予算及び決算に関すること (12)　教育委員会の所掌に係る経理(差引)に関すること (13)　学校の設置管理及び廃止に関すること (14)　学校その他教育機関の施設の整備に関すること (15)　教育関係の調査統計に関すること (16)　教育要覧作成に関すること (17)　同和・人権対策に関すること
	学校教育係	(1)　学校基本調査に関すること (2)　学齢児童・生徒の就学及び転学に関すること (3)　教職員の保健及び健康診断に関すること (4)　児童・生徒の保健及び健康診断に関すること (5)　児童生徒の就学児童健康診断に関すること (6)　校医に関すること (7)　教科用図書に関すること (8)　就学援助、特別支援教育等の補助金に関すること (9)　井手町就学奨励に関すること (10)　英語指導助手事務に関すること (11)　児童生徒及び教職員の災害に関すること (12)　学校給食に関すること (13)　教材及び理科教育備品に関すること (14)　学校施設の建設及び営繕に関すること (15)　学校の環境衛生に関すること (16)　校長会等に関すること (17)　教育課程に関すること (18)　生徒指導・心の教育事業に関すること (19)　特別支援教育・就学指導に関すること

学校教育課	学校教育係	(20) 人権教育に関すること (21) 教科内容及び取扱に関すること (22) 学習指導・学力向上事業に関すること (23) 校長及び教員の研修に関すること (24) 学校図書館に関すること (25) 学校評価・教職員評価に関すること (26) 進路指導に関すること (27) 学校安全・学校管理に関すること (28) 情報教育・情報管理に関すること (29) その他学校教育指導に関すること (30) 子ども見守り隊に関すること (31) 綴喜地区教育委員会連合会の事務に関すること (32) 自然休養村管理センターの運営に関すること (33) 綴喜結核対策協議会に関すること (34) 図書館支援センター事業に関すること (35) 学校教育推進の重点に関すること (36) 教育に関する事務の点検・評価に関すること
社会教育課	社会教育係	(1) 井手町社会教育委員会に関すること (2) 社会教育委員連絡協議会に関すること (3) 社会教育推進の重点に関すること (4) 社会教育課所管の予算差引きに関すること (5) 社会教育担当者会に関すること (6) 山城地方社会教育研究協議会に関すること (7) 社会教育のまとめに関すること (8) 社会教育課の点検評価に関すること (9) 生涯学習情報誌の発行に関すること (10) 各種学習サークル活動に関すること (11) 公民館連絡協議会に関すること (12) ふるさとガイドに関すること (13) 天文台活動及び管理運営に関すること (14) 生涯学習ボランティアの育成と人材活用に関すること (15) 青少年を育てる会に関すること (16) 綴喜青少年問題連絡協議会に関すること (17) 子ども会育成協議会に関すること (18) 地域安全対策に関すること (19) 放課後児童クラブに関すること (20) 「のびのび育つ」こども応援事業費補助金事務に関すること (21) まなび教室事業(きらきらランド)に関すること

社会教育課	社会教育係	(22)　京のまなび教室推進事業補助金事務に関すること (23)　環境浄化推進協議会に関すること (24)　女性団体の育成に関すること (25)　男女共同参画推進に関する事業 (26)　女性教養講座に関すること (27)　家庭教育学級の開設に関すること (28)　次世代育成支援対策に関すること (29)　井手玉川大学に関すること (30)　高齢者教養講座に関すること (31)　人権啓発に関すること (32)　町人権のつどいに関すること (33)　人権問題啓発事業に関すること (34)　いづみふれあい学級、教室の開設に関すること (35)　人権教育行政担当者協議会に関すること (36)　井手町人権教育連絡会に関すること (37)　PTAに関すること (38)　町文化祭に関すること (39)　文化協会に関すること (40)　解放文化祭に関すること (41)　山吹ふれあいコンサートに関すること (42)　文化財保護審議会に関すること (43)　府文化財保護指導委員に関すること (44)　町内遺跡発掘調査・史跡用地に関すること (45)　文化財補助金交付に関すること (46)　文化財啓発及び防災に関すること (47)　府文化財保護行政担当者会議に関すること (48)　山城地方社会教育研究協議会文化財部会に関すること (49)　埋蔵文化財の土木工事の届出及び通知に関すること (50)　成人式に関すること (51)　美しい町づくり協議会に関すること (52)　情報公開に関すること (53)　菊花展に関すること (54)　施設周辺の整備・清掃に関すること (55)　マイクロバス等添乗に関すること
	社会体育係	(1)　保健体育費予算に関すること (2)　スポーツ推進委員会に関すること (3)　体育協会に関すること (4)　社会体育施設に関すること

社会教育課	社会体育係	(5)　吉川道場解体工事に関すること (6)　社会体育関係団体に関すること (7)　山城地方スポーツ推進委員会に関すること (8)　山城地方体育協会に関すること (9)　府民総体に関すること (10)　スポーツ少年団に関すること (11)　山城地方社会教育研究協議会体育専門部会に関すること (12)　総合型地域スポーツクラブに関すること (13)　学校施設利用に関すること (14)　地域スポーツ活動に関すること

学校別教職員数（職別・性別）

（平成26年5月1日現在）

学校 / 性別 / 職名	井手小		有王分校		多賀小		泉ヶ丘中		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
校長	1				1		1		3	0
教頭	1				1		1		3	0
教諭	11	7			3	5	10	6	24	18
講師		1			1		2		3	1
養護教諭		1				1		1	0	3
栄養教諭		1							0	1
事務職員		1				1		1	0	3
校務技手		1				1		1	0	3
計	13	12	0	0	6	8	14	9	33	29

小・中学校児童生徒数

（平成26年5月1日現在：学校基本調査より）

	学年 / 性別 / 学校名	1		2		3		4		5		6		合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	井手小	31	17	16	20	19	16	24	23	30	18	25	18	145	112
	学年計	48		36		35		47		48		43		257	
	多賀小	7	8	13	9	10	6	8	10	6	9	11	8	55	50
	学年計	15		22		16		18		15		19		105	
	有王分校														
	男女別計	38	25	29	29	29	22	32	33	36	27	36	26	200	162
	合計	63		58		51		65		63		62		362	
中学校	泉ヶ丘中	24	16	34	28	35	22							93	66
	合計	40		62		57								159	

教　育　行　政　沿　革　史

昭和３３年	４月	町村合併により初代教育長に乾　善司就任
		井手町立泉ヶ丘中学校、井手町立井手小学校、井手町立多賀小学校と改称
昭和３５年	１月	井手小学校火災のため１１教室全焼
	６月	泉ヶ丘中学校体育館竣工
	６月	多賀小学校講堂兼体育館改築
昭和３６年	３月	井手小学校鉄筋二階建校舎（１０教室）竣工
	７月	井手小学校２５メートル水泳プール完成
昭和３８年	３月	泉ヶ丘中学校鉄筋三階建校舎（７１３㎡）
昭和３９年	６月	泉ヶ丘中学校鉄筋三階建校舎二期工事（７９５㎡）竣工
昭和４０年	５月	教育委員会事務局に社会教育主事設置
	１０月	泉ヶ丘中学校運動場拡張工事完成
		多賀小学校２５メートル水泳プール完成
昭和４１年	４月	泉ヶ丘中学校校地周囲棚垣完成
	６月	北川智浩教育長就任
昭和４２年	４月	町学校給食センター完成、三学校給食開始
	８月	多賀小学校棚垣完成
昭和４３年	７月	役場庁舎新築に伴い教育委員会事務局新役場庁舎内に移転
昭和４４年	３月	多賀小学校校門ならびに棚垣一部完成
	４月	井手、多賀小学校教育後援会解散
昭和４５年	３月	泉ヶ丘中学校南校舎非常階段完成
	８月	泉ヶ丘中学校クラブボックス（１８室）完成
昭和４６年	９月	泉ヶ丘中学校体育館改築
昭和４７年	２月	給食センターに地下オイルタンク設置
	３月	井手小学校運動場土堤コンクリートスタンド完成
	４月	教育委員会事務局プレハブ仮庁舎に移転
	５月	教育委員会に社会教育指導員設置
	６月	泉ヶ丘中学校本館屋上防水補修工事完成
	７月	井手小学校講堂改修工事完成
昭和４８年	３月	泉ヶ丘中学校便所新築完成
	９月	給食センター事務室、休憩室増築、改築他床面改修工事完成
昭和４９年	３月	泉ヶ丘中学校校舎増築工事完成
		吉川道場シャワー室増築工事完成
		井手小学校職員及び児童便所増築工事完成
昭和５０年	３月	多賀小学校便所及び倉庫改築工事完成
		井手小学校教材室増築、ブロック塀、ネットフェンス、非常階段設置工事完成
		北区教育集会所新築工事完成
昭和５１年	２月	多賀小学校音楽教室改築工事完成
	３月	南区教育集会所新築工事完成
	８月	泉ヶ丘中学校体育館床補修工事完成
昭和５２年	１月	多賀小学校講堂改修工事完成
	３月	井手小学校講堂改修工事完成
	４月	林　鎮雄教育長就任
	７月	井手小学校理科室設備完成

	9月	井手小学校中庭側溝工事及び校庭便所改修完成
昭和５３年	4月	井手小学校有王分校運動場拡張遊具移動
	5月	多賀小学校プレハブ教室新築
	7月	井手小学校、多賀小学校プール浄化機更新
	9月	給食センター米飯給食の導入試行各校月１回
昭和５４年	3月	泉ヶ丘中学校鉄筋三階建南校舎竣工（普通教室、９教室、1,010 ㎡）
		泉ヶ丘中学校用務員室並びに給湯設備補修
	4月	泉ヶ丘中学校運動場防球ネット設置工事完成
	8月	多賀小学校南校舎屋根改修工事完成
		井手小学校講堂防球格子取付、南側ネットフェンス等改修工事完成
		泉ヶ丘中学校職員便所、技術室防球ネット等改修工事完成
	１０月	井手町立住民グランド新設工事完成
	１２月	泉ヶ丘中学校宿直室、フェンス等改修工事完成
昭和５５年	1月	役場分庁舎新築に伴い教育委員会事務局、分庁舎内に移転
	2月	泉ヶ丘中学校相談室、体育館窓改修工事完成
	4月	森岡　勇教育長就任
		京都府教育委員会より社会教育主事派遣
		給食センター米飯給食各校月２回に増
	7月	井手小学校プール改修工事完成
	8月	井手小学校講堂外部塗装改修工事完成
		泉ヶ丘中学校本館外装・屋上防水等工事完成
昭和５６年	3月	多賀小学校校舎増改築工事（鉄筋三階建普通教室〔１２教室〕一棟、及び鉄筋二階建特別教室〔３教室〕、管理室等）一棟 2,440 ㎡竣工
		多賀小学校講堂昇降口、倉庫等改修工事（鉄筋造平屋建５０㎡）竣工
		多賀小学校給食配膳室改築工事（鉄筋造平屋建３３㎡）竣工
	7月	泉ヶ丘中学校屋外バレーコート新設工事完成
	１２月	井手小学校校舎増改築工事（鉄筋三階建普通教室〔９教室〕、特別教室〔５教室〕、管理室等）2,707 ㎡竣工
昭和５７年	3月	住民グランド拡張及び防球ネット設置工事完成
	4月	井手小学校北校舎内装改修工事完成
		井手小学校有王分校休校
	6月	多賀小学校講堂屋根貼替工事完成
		泉ヶ丘中学校南通用門新設工事完成
	8月	泉ヶ丘中学校北校舎内装工事完成
		多賀小学校グラウンド整地工事完成
		井手小学校校舎改修工事完成
	１２月	泉ヶ丘中学校防球ネット拡張工事完成
昭和５８年	7月	泉ヶ丘中学校理科室改修工事及び体育館・便所改修工事完成
	6月	多賀小学校プール改修工事完成
	8月	多賀小学校アスファルト舗装工事完成
		井手小学校窓水切改修工事完成
昭和５９年	3月	国体啓発塔設置工事完成
	8月	井手小学校北校舎窓改修工事完成
		泉ヶ丘中学校体育館等改修工事完成
	9月	給食センター米飯給食各校月６回に増
昭和６０年	4月	社会同和教育指導員設置
	5月	教育委員会事務局井手町自然休養村管理センター内に移転
	8月	井手小学校北校舎防水・窓改修工事完成

		多賀小学校プール改修工事完成
昭和６１年	４月	宮本英男教育長就任
		京都府教育委員会より指導主事派遣
	８月	国体室設置
		多賀小学校運動場防球ネット設置工事完成
昭和６２年	２月	泉ヶ丘中学校校舎大規模改修工事完成
		泉ヶ丘中学校中校舎増改築工事完成
	４月	京都府教育委員会より社会教育主事派遣
昭和６３年	８月	井手小学校西側ネットフェンス改造並びに多賀小学校排水溝及び体育倉庫改造工事完成
		泉ヶ丘中学校校舎（本館１階）大規模改造工事完成
	１０月	京都国体、井手町ボクシング会場として開催
平成　元年	３月	井手小学校有王分校増改築工事完成
	４月	井手小学校有王分校再開
	８月	井手小学校浄化槽フェンス新設工事並びに多賀小学校講堂照明改造及び浄化槽フェンス新設工事完成
		泉ヶ丘中学校（本館２・３階）大規模改造工事完成
		給食センターボイラー更新
平成　２年	２月	井手小学校プール改造工事完成
	７月	井手町図書室開設
	８月	多賀小学校プール改修工事完成
		井手小学校塗装工事完成
	９月	泉ヶ丘中学校体育館大規模改造工事完成（Ⅰ）
平成　３年	１月	泉ヶ丘中学校グランド整備工事完成
	８月	給食センター給食運搬車更新
	９月	泉ヶ丘中学校体育館大規模改造工事完成（Ⅱ）
平成　４年	９月	学校週５日制月１回（第２土曜日）実施
	１０月	泉ヶ丘中学校本館屋上防水改修工事完成
		学校給食費改定
	１２月	泉ヶ丘中学校コンピュータ教室増築工事完成
		泉ヶ丘中学校コンピュータ機器購入
平成　５年	３月	井手町立学校給食センター新築工事完成
		泉ヶ丘中学校給食配膳室増改築工事完成
	８月	泉ヶ丘中学校北校舎屋根防水工事完成
		旧学校給食センター解体撤去工事完了
平成　６年	３月	山吹コミュニティーセンター新築工事完成
	５月	井手町図書室閉室
	７月	山吹ふれあいセンター開館・井手町図書館開館
		小中学校機械警備開始
平成　７年	１月	井手小学校体育館増改築工事完成
	４月	学校週５日制月２回（第２、第４土曜日）実施
	１１月	泉ヶ丘中学校本館前舗装工事完成
平成　８年	２月	多賀小学校体育館及び給食室増改築工事完成
	３月	泉ヶ丘中学校障害者用便所新設工事完成
	４月	高校総体係設置
	７月	小中学校空調設備設置（校長室のみ）
平成　９年	８月	全国高校総体、井手町ボクシング会場として開催
		泉ヶ丘中学校体育館下水道接続等工事完成

		給食センターボイラー更新
平成１０年	４月	学校給食費改定
	６月	牧野久夫教育長就任
	８月	井手小学校大規模改造工事完成（コンピュータ教室）
		多賀小学校大規模改造工事完成（コンピュータ教室）
	１０月	非常勤学校教育指導主事設置
		井手小学校コンピュータ機器購入（２２台）
		多賀小学校コンピュータ機器購入（１７台）
	１１月	井手町住民グラウンド整備工事完成（有王）
平成１１年	３月	バスケットゴール等整備工事完成（井手町高月団地）
		新四郎山グラウンド整備工事完成
		井手小学校公共下水道接続工事完成
	５月	井手町住民グラウンド整備工事完成（有王）
	１０月	総合型地域スポーツクラブ設立
平成１２年	１月	井手小学校北校舎改築工事完成
	２月	文部省指定「教育総合推進地域事業」（平成９～１１年度）発表会開催
	６月	井手町住民グラウンド（有王）整備工事完成
	７月	小学校保健室空調設備設置
		外国青年招致事業開始（英語指導助手配置）
	８月	泉ヶ丘中学校コンピュータ機器更新（４２台）
		給食センター床改修工事完成
平成１３年	７月	学校図書館と井手町図書館のインターネット開設
	８月	給食センター給食運搬車（冷凍冷蔵車）更新
	１１月	井手町住民グラウンド（新四郎山）整備工事完成
		井手町学校教育懇談会設置
		井手小学校・多賀小学校図書館司書配置
平成１４年	２月	各学校に非常通報装置設置工事完成
	４月	学校完全週５日制実施
		石橋瓦窯跡発掘調査
	８月	泉ヶ丘中学校南校舎大規模改造工事完成
		井手小学校・多賀小学校余裕教室の改修工事完成（放課後児童クラブ用）
		多賀小学校下水道接続及び浄化槽解体工事完了
平成１５年	４月	放課後児童クラブ開設（井手小学校・多賀小学校）
	１１月	井手寺跡発掘調査（～翌年２月）
平成１６年	４月	文部科学省指定「学力向上支援事業」（研究協力校井手小・多賀小・泉ヶ丘中）
	１１月	井手寺跡発掘調査（～翌年２月）
平成１７年	４月	有王分校休校
		泉ヶ丘中学校へ図書館司書配置
	５月	石橋瓦窯跡発掘調査（～８月）
	９月	泉ヶ丘中学校耐震補強工事完成（本館）
		泉ヶ丘中学校保健室・視聴覚室空調設備設置
	１０月	井手寺跡発掘調査（～１２月）
平成１８年	１月	「石橋瓦窯跡」国の史跡指定〔大安寺旧境内附石橋瓦窯跡〕
	２月	多賀小学校耐震補強工事完成（教室棟、管理棟）
	４月	学校教育課に割愛人事として指導主事配置
		ジョイントアップ研究開発推進事業
	５月	子ども見守り隊結成（井手地区・多賀地区）

		石橋瓦窯跡発掘調査（～８月）
	６月	木下惠三郎教育長就任
	８月	文部科学省委嘱「学校図書館支援センター推進事業」
		泉ヶ丘中学校体育館耐力度調査
	９月	井手小学校コンピュータ機器更新（１８台）
		多賀小学校コンピュータ機器更新（１５台）
		多賀小学校給食配膳棟耐震補強工事完成
		井手寺跡発掘調査（～１２月）
	１１月	石橋瓦窯跡用地取得（城南土地開発公社から）
平成１９年	６月	石橋瓦窯跡発掘調査（～８月）
	９月	泉ヶ丘中学校コンピュータ機器更新（３５台）
		井手寺跡発掘調査（～１２月）
平成２０年	３月	学校図書館図書標準達成率１００％達成（井手小・多賀小・泉ヶ丘中）
	３月	泉ヶ丘中学校体育館改築竣工
	６月	京のまなび教室（きらきらランド）開設〈多賀小学校区〉
		石橋瓦窯跡発掘調査（～８月）
	９月	小・中学校空調設備工事完了
		（井手小学校７教室）（多賀小学校４教室）（泉ヶ丘中学校４教室）
		井手寺跡発掘調査（～１２月）
	１１月	文化財常設展示場開設（休養村管理センター１Ｆ）
平成２１年	３月	図書館情報システム機器更新（小・中学校図書館システム整備）
	４月	松田　定教育長就任
	６月	石橋瓦窯跡発掘調査（～９月）
	８月	小・中学校空調設備工事完了
		（井手小学校 10 教室）（多賀小学校６教室）（泉ヶ丘中学校９教室）
		井手町図書館、泉ヶ丘中学校・井手小学校・多賀小学校図書館資料の
		相互利用に関する協定締結
	１０月	井手寺跡発掘調査（～翌年１月）
平成２２年	２月	「井手町子どもの読書活動推進計画」策定
	３月	小・中学校地上デジタル放送アンテナ整備工事完成
		電子黒板一式　井手小・多賀小・泉ヶ丘中設置
		小学校防水設備整備工事完成
		小・中学校太陽光発電設備設置工事完成
	４月	学校給食費改訂
	７月	井手町文化協会設立
		石橋瓦窯跡発掘調査（～翌年２月）
	８月	井手小学校・多賀小学校トイレ改修工事完成
	１１月	第２６回国民文化祭井手町「川柳の祭典」プレ大会開催
	１２月	井手寺跡発掘調査（～翌年１月）
平成２３年	３月	多賀小学校プール改築竣工
	８月	新四郎山グラウンド防球対策工事完成
	９月	小・中学校教職員用コンピュータ機器購入（　４７台）
		給食センター食器・食缶洗浄機更新
	１０月	文部科学省委託「井手町学校施設エコスクール化調査研究委員会」設置
		新四郎山グラウンド土留壁設置工事完成
	１１月	第２６回国民文化祭井手町「川柳の祭典」開催
		井手寺跡発掘調査（～翌年３月）
平成２４年	３月	山吹ふれあいセンター空調等工事完成

	６月	井手小学校プール改修工事完成
	８月	オーストラリアの私立校と姉妹校盟約調印
	８月	泉ヶ丘中学校本館トイレ改修工事完成
	９月	井手・多賀小学校職員トイレ改修工事完成
	９月	小・中学校フェンス整備工事完成
平成２５年	１月	井手小学校南側フェンス整備工事完成
	２月	自然休養村管理センター駐車場等改修工事完成
	３月	小・中学校昇降口他改修工事完成
	８月	泉ヶ丘中学校、オーストラリア姉妹校へ第１期派遣
	１１月	小学校パソコン機器更新
平成２６年	４月	通級指導教室開設
	４月	学校給食費改訂
	８月	給食配送車購入
	９月	泉ヶ丘中学校、オーストラリア姉妹校から第１期受入れ

小中学校　児童・生徒数の推移

	井手小	井手小有王分校	多賀小	児童小計	泉ヶ丘中	児童生徒総数		井手小	井手小有王分校	多賀小	児童小計	泉ヶ丘中	児童生徒総数
S44	546	2	205	753	383	1,136	H04	460	6	160	626	309	935
S45	550	3	222	775	359	1,134	H05	447	5	146	598	310	908
S46	546	1	221	768	325	1,093	H06	453	4	147	604	304	908
S47	564	2	230	796	299	1,095	H07	448	4	141	593	306	899
S48	561	3	229	793	296	1,089	H08	429	2	139	570	283	853
S49	587	2	269	858	272	1,130	H09	397	1	125	523	301	824
S50	576	2	270	848	283	1,131	H10	395	1	119	515	279	794
S51	559	1	282	842	275	1,117	H11	382	1	130	513	268	781
S52	564	0	296	860	295	1,155	H12	357	1	134	492	223	715
S53	557	2	312	871	315	1,186	H13	346	2	130	478	219	697
S54	588	2	330	920	320	1,240	H14	323	2	134	459	202	661
S55	592	2	334	928	360	1,288	H15	341	1	142	484	192	676
S56	603	2	346	951	328	1,279	H16	321	2	135	458	182	640
S57	602	0	318	920	352	1,272	H17	327	0	124	451	182	633
S58	594	0	321	915	346	1,261	H18	321	0	130	451	176	627
S59	578	0	309	887	378	1,265	H19	315	0	124	439	184	623
S60	544	0	287	831	407	1,238	H20	314	0	117	431	170	601
S61	508	0	255	763	441	1,204	H21	289	0	119	408	187	595
S62	504	0	232	736	451	1,187	H22	293	0	102	395	171	566
S63	497	0	209	706	414	1,120	H23	272	0	103	375	188	563
H01	489	1	191	681	361	1,042	H24	265	0	100	365	180	545
H02	479	2	171	652	330	982	H25	258	0	101	359	191	550
H03	482	3	164	649	315	964	H26	257	0	105	362	159	521

小中学校　児童・生徒数の推移見込

上段:実学級数
中段:特別支援学級児童・生徒内数
下段:児童生徒数計　有王(人数)

小　学　校

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特支学級	合 計
26	3	3	3	3	3	3	2	20
年				1	2	1	4	4
度	61	58	51	65	62	61		358
27	3	3	3	3	3	3	2	20
年					1	2	3	3
度	50	61	58	51	65	62		347
28	3	3	3	3	3	3	2	20
年						1	1	1
度	50	50	61	58	51	65		335
29	3	3	3	3	3	3	2	20
年							0	0
度	57	50	50	61	58	51		327
30	3	3	3	3	3	3	2	20
年							0	0
度	43	57	50	50	61	58		319
31	3	3	3	3	3	3	2	20
年							0	0
度	59	43	57	50	50	61		320
32	3	3	3	3	3	3	2	20
年							0	0
度	46	59	43	57	50	50		305

中　学　校

	1 年	2 年	3 年	特支学級	合 計
26	2	2	2	1	7
年	1		1	2	4
度	40	61	57		158
27	2	2	2	1	7
年		1		1	1
度	62	40	61		163
28	2	2	2	1	7
年	2		1	3	3
度	62	62	40		164
29	2	2	2	1	7
年	1	2		3	3
度	65	62	62		189
30	2	2	2	1	7
年		1	2	3	3
度	51	65	62		178
31	2	2	2	1	7
年			1	1	1
度	58	51	65		174
32	2	2	2	0	6
年				0	0
度	61	58	51		170

学校教育推進の重点

学校教育推進の重点

重点目標１　基礎・基本を定着させ学力の充実・向上を図る

質の高い学力をはぐくむため、授業改善の推進、家庭学習習慣の確立などを通して学習意欲を高めるとともに、基礎・基本を定着させ学力の充実・向上を図る。
また、基礎的・基本的な知識や技能を活用し、自ら課題を解決する力をはぐくむ取組を推進する。

（１）基礎学力の定着

○　小・中学校での授業改善により基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。
○　各種診断テストや調査に基づく客観的な学力把握と分析により、授業改善の視点を明確にする。
○　学校と家庭を結んで児童生徒の学習サイクルの確立に努めるとともに、組織的・計画的に繰り返し指導を進め、学力の定着を図る。

（２）基礎的な知識や技能を活用する力の育成

○　各教科等で身につけた基礎的・基本的な知識や技能を活用して思考・判断・表現し、自ら課題解決できる力を養うとともに、読書活動の推進によって言語能力を高める。
○　日頃の学習の発展として教科に関係する各種検定等にチャレンジするなど、活用力を伸ばす取組を推進する。

（３）学習意欲の向上

○　授業改善を推進し学ぶ意欲を高めるとともに、学習の状況に応じて個別に支援方策を立て学習習慣の定着を図り、一人一人に応じたきめ細かな指導を行う。
○　知的好奇心や探求心をはぐくむ体験授業や出前授業などにより学習意欲を引き出す取組を推進する。
○　小学校において中学校教員の専門性を生かした学習指導を進め、児童の学ぶ意欲を高める。

事業や取組

＜(　)数字は上記項目番号との関連を示す＞
＜●は複数項目に重複して掲載している取組や事業＞

○授業改善の推進(1)　(3)
（スーパーバイザーなどの指導を生かしながら学習者の視点に立った授業改善を推進し、学力向上に取り組む：ジョイント・アップ推進事業）
○　中１振り返り集中学習「ふりスタ」の推進(1)　(3)
（中学１年生で小学校での基礎的・基本的内容を復習するとともに、家庭学習習慣の確立を図り学習意欲を高める）
○学生パワー活用事業(1)　(3)
（大学生等を教育ボランティアとして受け入れ、児童生徒への個に応じたきめ細かな学習支援を行い学力の充実・向上を図る）

●京都式少人数教育の推進(1) (3)
(少人数授業や少人数学級編成により、きめ細かな指導を行い学力の充実・向上を図る)
●学習習慣確立支援事業(1)(3)
(学習上の深刻な課題をもつ児童生徒や家庭についてアドバイスする専門家「まなび・生活アドバイザー」を配置し、学習習慣や基本的生活習慣の確立のための相談等を進める)
●学習集団づくりの推進(1) (3)
(子どもが互いに協力して学びあい・高めあう学習集団づくりによって学ぶ意欲を高め学力の向上を図る:ジョイント・アップ推進事業)
●個別支援プログラムの推進(1)(3)
(学習の状況に応じて個別に支援方策を立てきめ細かな指導を行う:ジョイント・アップ推進事業)
○チャレンジ学習事業(2)
(漢字検定、英語検定、数学検定等にチャレンジし活用力を伸ばす)
○京都大学と京都府教育委員会との連携事業(3)
(大学と連携し子どもの知的好奇心や探求心をはぐくむ体験事業や出前授業などにより、学習への興味・関心を高め学ぶ意欲を引き出す)
●調べる学習地域コンクール事業(2)
(図書や資料等を使い自ら探求し課題を解決する発展的課外学習活動を進め、基礎的な知識や技能を活用する力をはぐくむ。全国コンクールにも応募する。)
●小・中連携加配による小学校での音楽科指導(3)
(小学校高学年を対象とした中学校教員による授業により児童の学ぶ意欲を高める)
○中学校体験授業、部活動体験、出前授業の推進(3)
(小学生による中学校での授業や部活動の体験、中学校教員による小学校への出前授業によって学ぶ意欲を高める)
○スパイラル学習の推進 (1)
(授業開始後5分間の振り返り学習、週単位や学期単位の定着確認テスト、日々の授業と結んだ家庭学習などを進め学力の定着を図る。)

重点目標2　豊かな人間性や社会性をはぐくむ

生命を尊重し人を思いやる心など、「心の教育」を充実し豊かな人間性や感性をはぐくむ。
また、規範意識やコミュニケーション能力を高め、人や社会とつながり共生できる社会性をはぐくむとともに、将来のまちづくりを担う児童生徒を育成する。

(1) 生命を尊重し人を思いやる心など「心の教育」の充実

○ 道徳の時間の指導や豊かな体験活動を充実し、生命を尊重し人を思いやる心など「心の教育」を推進し豊かな人間性をはぐくむ。

(2) 規範意識を高め、自ら考え理解し行動できる力の育成

○ 実生活の中での法・規則・ルール等について、自ら考え、理解し、行動できる能力の育成に努める。

（3）コミュニケーション能力を高め、人と共生できる力の育成

○　集団的活動・ボランティア活動・世代間交流等を通して、コミュニケーション能力を高め、好ましい友人関係をつくるとともに、社会とのつながりを広げ人と共生できる力を養う。

（4）豊かな感性や情緒の育成

○　一流の文化芸術団体による優れた舞台芸術を鑑賞し、芸術家との出会いによって豊かな感性や情緒をはぐくむ。

（5）地域の教育力を生かし、地域社会と協働して実践する「まちづくり教育」の推進

○　まちの自然・歴史・人材等地域の教育力を生かし、将来のまちづくりの主人公の育成を目指す「まちづくり教育」を推進する。

事業や取組

●学習集団づくりの推進(2)
（子どもが互いに協力して学びあい・高めあう学習集団づくりによって、人と共生できる力を高める：ジョイント・アップ推進事業）
○地域学習や体験学習の推進(2)（4)
（ゲンジボタルを守る会や地元農家の協力による農業体験等の推進など、身近な人との交流や出会いの場をつくるとともに、社会科副読本等を活用した地域学習を充実し郷土への愛着心をはぐくむ）
○集団的活動・社会体験活動・ボランティア活動等体験活動の充実(1)(2)
（様々な体験活動を通して思いやりの心をはぐくみ、コミュニケーション能力を高め人や社会とつながり共生する力をはぐくむ）
○道徳の時間の充実(1)
（「京の子ども 明日へのとびら」や「心のノート」等の教材の活用によって道徳の時間を充実し「心の教育」を推進する）
○次代を担う子どもの文化芸術体験事業(3)
（一流の文化芸術団体による優れた舞台芸術を鑑賞し豊かな感性や情緒をはぐくむ）

重点目標３　いじめの防止等のために積極的な指導を進める

井手町及び学校のいじめ防止基本方針に基づき、いじめの早期発見・早期対応に努め、教育委員会と連携した指導のもと、いじめの防止と解決に向けた取組を積極的に進める。

（1）いじめを許さない日頃の指導と、早期発見・早期対応に努める

○　学校教育活動全体を通じ、人権尊重を基盤とした指導を充実させるとともに、児童生徒の豊かな情操や社会性、人を思いやる心などをはぐくみ、いじめを許さない学校づくりを進める。

○　いじめはどの子どもにも、どの学校でも起こりうるものであるという危機意識をもって、子どもの変化を察知する鋭敏な人権感覚を磨き、学校・家庭・地域社会の連携の下、早期発見・早期対応に努める。

○　いじめの相談窓口の設置や定期的ないじめ調査を実施する。

（2）人権尊重の視点に立ち、内面深く迫る粘り強い指導を進める

○　児童生徒に「いじめは決して許されない人権侵害である」ことを理解させ、内面に深く迫る指導を粘り強く行うとともに、陰湿化・潜在化することのないよう注意深く指導を継続する。

○　いじめに係る行為の防止にとどまることなく、友人関係を注視し良好な関係に戻るまで指導を徹底する。

（3）学校全体で組織的な対応を図る

○　いじめの兆候が見られたら、教職員一人で抱え込むことなく、管理職等に速やかに報告し、学校全体で共通理解を図りながら組織的に対応する。

（4）教育委員会や家庭・地域社会と迅速かつ緊密な連携を図る

○　いじめ問題の発生に際しては、事実関係を正確に確認した上で、速やかに教育委員会へ報告・連絡・相談を行うとともに、家庭・地域社会とも緊密に連携して取組を進める。

（5）深刻ないじめには関係機関とも連携するなど毅然とした指導を行う

○　暴行や恐喝などの犯罪行為等、学校の指導の範囲を超えるいじめについては、教育委員会と連携しながら警察や児童相談所とも連携した対応を行う。

○　いじめの状況により、被害児童生徒を守り学校の秩序を保つために、教育委員会と連携し加害児童生徒に対して出席停止等の措置も検討する。

事業や取組

○井手町いじめ防止対策推進委員会の設置と取組(3)
○井手町教育委員会いじめ調査委員会の設置(3)
○いじめの相談窓口の設置と取組(1)
○学期ごとの「いじめ調査」の実施(1)
○児童生徒が自主的に行う、いじめの防止等のための活動に対する支援(1)
○いじめ防止等のための対策に関する教職員研修の実施(1)

重点目標４　たくましく健やかな身体をはぐくむ

授業や部活動の充実に努めるとともに、地域の指導者の活用を図り、児童生徒の体力や運動能力の向上を目指す取組を推進する。
また、望ましい生活習慣や食習慣を身に付けさせ、健やかな身体の育成を図る取組を充実する。

（1）体力の向上

○　地域のスポーツ人材を活用した運動部活動の指導や、「京の子ども元気なからだスタンダード事業」での成果を学校に普及活用し、運動やスポーツに親しみ運動能力を高める取組を推進する。

（2）健やかな身体の育成

○　専門機関との連携による喫煙・飲酒・薬物乱用防止のための啓発指導や食育指導などの取組により児童生徒の身体の健やかな育成を図る。

事業や取組

○京の子ども元気なからだスタンダード事業の成果の普及と活用(1)
（児童が運動に親しみながら体力向上を図る）
○運動部活動地域連携再構築事業(1)
（地域のスポーツ指導者の協力を得て運動部活動等の活性化を図る）
○スポーツ選手活用体力向上事業(1)
（スポーツのスペシャリストを招き指導を受ける）
●非行防止教室(2)
（危険な薬物から身を守るための啓発指導を推進する）
○食育指導の推進(2)
（望ましい食習慣を身につけさせ、地域社会や家庭と連携した指導を推進する）

重点目標５　人権を尊重し個性や能力を伸ばす

人権尊重を教育活動の基盤に据え、同和教育を人権教育の重要な柱として教育活動全体に位置づけ、人権問題の正しい理解や認識の基礎と人権尊重の実践的態度を培う。
また、一人一人の個性や能力を伸ばすため、多様な教育的ニーズに対応した魅力ある学校づくりを推進する。

（1）人権教育の推進

○　人権教育を教育活動全体に適切に位置付け、人権尊重の意識を高め、自他の人権を大切にする教育を進めるとともに、児童生徒の実態を的確に把握して、教育の機会均等を図り、学力の充実・向上、進路保障に努める。

（2）特別支援教育の推進

○　発達障害を含め、様々な障害のある児童生徒の教育的ニーズに的確に対応できる指導体制を確立し、一人一人に応じたきめ細かな指導計画に基づき、学習や生活をよりよくする指導や支援を推進する。

（3）キャリア教育の推進

○　児童生徒一人一人の将来に対する目的意識を高めキャリア教育を通して望ましい職業観や勤労観を身に付け、自らの進路を主体的に切り拓く能力や態度を育成する。

（4）読書活動の推進

○　読書活動を積極的に推進し、読書を通して豊かに言葉を学び感性を磨き、読解力・思考力・想像力・表現力を養い、より豊かに生きる力をはぐくむとともに、自ら課題解決する力を高める。
○　学校図書館の利用を促進し読書活動を積極的に推進するため、学校図書館司書を学校へ派遣する。

事業や取組

○教育総合推進地域事業(1)
（学力の向上を目指し教育上の課題について総合的に解決を図る取組を推進する）
○人権教育の充実(1)
（町人権・同和教育研究会での研究協議や校内研究会を通して、人権教育の研修と取組を充実する）
○特別支援教育支援員配置事業(2)
（通常学級で特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実を図る）
○交流や共同学習の充実(2)
（障害の有無に関わらず誰もが共に暮らす社会を目指す「地域学校」や共同学習などを推進する）
○「もうすぐ１年生」体験入学推進事業(3)
（就学前の子どもを対象に、小学校入学後生活習慣や学習習慣の変化に適応させるための取組を推進する）
○ＫＹＯ発見　仕事・文化体験活動推進事業(3)
（地域社会での様々な体験活動を通して望ましい職業観、規範意識、コミュニケーション能力等を身に付けさせる）
●調べる学習地域コンクール事業(4)
（図書や資料等を使い自ら探求し課題を解決する発展的課外学習活動を進め基礎的な知識や技能を活用する力をはぐくむ。全国コンクールにも応募する。）
●小・中学校への図書館司書の配置(4)
（学校へ図書館司書を配置して学校図書館利用を促進し児童生徒の読書活動を支援する）

重点目標６　社会の変化に主体的に対応できる力をはぐくむ

社会の変化に主体的に対応し、よりよい社会づくりに貢献できる力をはぐくむ。

（１）環境教育の推進

○　太陽光発電設備を活かし、環境の保全とエコ社会の構築に向け、児童生徒自らがすすめるよりよい環境づくりへの取組を推進する。

（２）情報教育の推進

○　情報の取捨選択と活用力を高め、情報機器や情報通信ネットワークを適切に利用する力を育成するとともに、情報モラルを高める取組を推進する。

（３）国際理解教育の推進

○　全校生徒による国際交流の取組や海外姉妹校生徒の受け入れなどにより国際理解教育を一層推進する。
○　外国語指導を充実し、コミュニケーション能力の育成を図ることにより、児童生徒にグローバルな社会を生きる力の基礎を培う。

事業や取組

●学校エコスクール化推進事業(1)
（環境教育プログラムを策定し学習活動を進めるとともに、児童生徒自らが学校や家庭でエコ実践活動を行う取組を推進する）
○清掃ボランティア活動の推進(1)
（学校周辺など身近な場所での清掃活動などのボランティア活動を行う）
○ＩＣＴ活用と情報モラル教育の推進(2)
（様々な研修の機会を通して教職員のＩＣＴ活用力の向上を図るとともに、児童生徒の情報モラルを高める指導に努める）
○英語指導助手活用事業(3)
（英語指導助手を小・中学校の英語指導で活用する）
●泉ヶ丘中学校国際交流・海外派遣事業(3)
（全校生徒による国際交流の取組や姉妹校生徒の受け入れを行い、その成果を小中学校や町内へ広める）
○英検チャレンジ推進事業(3)
（実践的な英語力とコミュニケーション能力を高めるため、英語検定受検を促進する）

重点目標７　学校の教育力の向上を図る

学校の教育力の向上を図り、学びを支える教育環境を充実する。

（１）特色ある学校づくり

○　児童生徒の学力向上を目的として小・中学校が協力連携して授業や学習支援を工夫改善し、学力向上を一層推進する。
○　グローバル社会の進展に対応し、児童生徒に未来への希望と展望を持たせるため、国際交流や海外派遣の取組により、特色ある学校づくりを推進する。
○　学校図書館へ図書館司書を配置し、児童生徒の読書活動を支援し読書意欲を高める。
○　地域の教育力を生かし、地域社会と協働して実践する「まちづくり教育」を推進する。

（２）きめ細かな指導や取組の推進と生徒指導の充実

○　きめ細かな指導や取組を充実することで児童生徒が学校で安心して過ごし自己実現を図れるようにするとともに、いじめ・暴力行為・不登校を未然に防止し早期対応できるよう総合的に取り組む。

（３）土曜日を活用した教育の推進

○　土曜日を活用した教育活動を学校の実態に応じて年間指導計画に位置づけて実施し、積極的な授業公開によって地域社会との連携を深めるとともに、学習への意欲を高め基礎学力の定着を図る。

（４）教員の資質・能力の向上

○　府教委の研修制度を積極的に活用するなど、各種研修の機会を利用し教員自らが資質や指導力を高める。

（５）体罰を許さない学校づくり

○　体罰は法令に違反し、いかなる理由があっても決して許されない行為であり、何らの教育効果を生む行為でもないことを教職員一人一人が十分認識する。

○　学校は日頃から児童生徒との信頼関係に基づく指導に努め、日常の指導において体罰を容認する体質や土壌がないかを学校組織で点検するとともに、校内研修で体罰根絶の取組を徹底する。

事業や取組

○ジョイント・アップ推進事業(1)
（小・中学校が連携し、学力の充実・向上を目的とした授業改善、個別支援プログラム、学習集団づくりの３つの柱での取組を推進する）

●泉ヶ丘中学校国際交流・海外派遣事業(1)
（全校生徒による国際交流や姉妹校生徒の受け入れを行い、その成果を小中学校や町内へ広める）

●小・中学校への図書館司書の配置(1)
（小・中学校へ図書館司書を配置し学校図書館利用を促進し児童生徒の読書活動を支援する）

○心の居場所サポーター活用事業(2)
（心に悩みを持つ児童生徒や不登校傾向のある児童生徒への対応を目的とした相談員を配置し、不登校の未然防止や早期解決を図る。）

○スクールカウンセラー活用事業(2)
（不登校児童生徒への対応のため臨床心理士を配置し教育相談機能の充実を図る）

●非行防止教室の開催(2)
（非行の未然防止と規範意識を醸成するため、京都府警少年サポートセンターによる非行防止教室を開催する）

●京都式少人数教育の推進(2)
（少人数授業や少人数学級編成により、きめ細かな指導を行い学力の充実・向上を図る）

●学習習慣確立支援事業(2)
（学習の困難な様々なケースについてアドバイスする専門家＜まなび・生活アドバイザー＞を配置し、学習習慣や基本的生活習慣の確立のための相談等を実施する）

●個別支援プログラムの作成と活用(2)
（個別支援プログラムを作成し、一人一人の課題に応じたきめ細かい学習支援を行う）

●小・中連携加配による小学校での音楽科指導(2)
（小学校高学年を対象とした中学校教員による授業により児童の学ぶ意欲を高める）

○授業改善を目的とした校内重点研究の推進(3)
（ジョイント・アップ推進事業による授業改善を推進し学力の充実・向上を図る）

○「単位制履修制度」の計画的受講の推進(3)
（教員のライフステージに応じた必要な研修を受講する府教委研修制度を活用し計画的に受講する）

○土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業(3)
（土曜日を活用して授業や行事を行い、児童生徒の学力を高めるとともに、学校と地域社会との連携した取組の強化を図る）

重点目標８　安心・安全で充実した教育環境を整備する

児童生徒が安心・安全で充実した学校生活が送れるよう教育環境を整備する。

（１）安心・安全な教育環境

○　児童生徒が安心して通学や学校生活ができるよう、保護者・地域住民との緊密な連携のもとに子どもの見守りや安全指導を行う。

（２）施設・設備や備品の整備と安全点検・安全指導の徹底

○　児童生徒が安心・安全で充実した学校生活を送れるよう施設・設備や備品を整備する。

○　学校内外での事故を防止するため、施設・設備や備品の安全点検と安全指導を徹底する。

事業や取組

○子ども見守り隊活動支援事業(1)
（子どもの通学途上や帰宅後の安全を見守る活動を行う協力団体との連携指導）
○施設・設備や備品の整備・充実(3)
（児童生徒が安心・安全で充実した学校生活や学習活動ができるよう教育環境を整備する）
○計画的な施設・設備や備品の安全点検と安全指導の徹底(3)
（施設・設備や備品の安全点検を行い、学校内外での安全指導を徹底し事故防止に努める）

＜参考＞
- ○　小・中学校耐震補強（平成１９年度完了）
- ○　小・中学校普通教室空調設備（平成２１年度完了）
- ○　小・中学校太陽光発電設備（平成２１年度完了）

学校教育関係の主な事業・取組

1　ジョイント・アップ推進事業

（1）本事業の目的

本町のジョイント・アップ推進事業は、平成18・19年度に京都府教育委員会の指定を受けたジョイント・アップ研究開発事業に始まり、研究期間終了後も指定を受けた町内3小中学校が連携し、児童生徒の学力向上を目的として今日まで様々な取組を展開してきている。

平成22年度からは大学院教授をスーパーバイザーとして迎え、研究主題を「小中協同の授業改善による学力の向上」とし、スーパーバイザーの毎年定期的な学校訪問によって教員が授業の直接指導を受けながら指導力の向上に取り組んでいる。

（2）研究組織と研究方針

これまでに様々な取組を進めながらより効果的な取組方法を追求し、現在は3専門部会を設け、小中学校が協同し9年間を見通した「質の高い学力」の育成を図っている。

（ア）授業改善部会
　スーパーバイザーによる指導などを活かし、学習者の立場に立った授業づくりの徹底
（イ）個別支援部会
　個別支援プログラムによる基礎学力の定着と学習サイクルの確立
（ウ）学習集団部会
　共生・共助を基盤に、学び合い高め合える学習集団の育成

（3）合同授業研究会と研修会

（ア）年間3回実施する合同授業研究会では、スーパーバイザーによる授業観察と授業後の個別指導、研究授業実施後は小中学校教員全員が学力向上に向けての研究を推進している。
（イ）夏季研修会では学力向上推進上の諸課題に焦点化した研究を進めている。

2　泉ヶ丘中学校国際交流・海外派遣事業

（1）事業目的

（ア）姉妹校との交流を通して、語学力の向上と異文化への理解を深めるとともに、自国や自分の故郷の文化を理解するなど、国際的な視野を持った生徒を育成する。

（イ）日常的に姉妹校との学校間交流を推進し、泉ヶ丘中学校の国際理解教育の一層の活性化を図る。

（ウ）「まちづくり教育」の一環として位置づけ、将来の本町を担う豊かな国際感覚を身に付けた生徒を育成する。

（2）姉妹校の概要

（ア）所 在 地　　オーストラリア　メイトランド市

（イ）学 校 名　　オールセイント・カレッジ・セイント・ジョセフ・キャンパス

（ウ）学校概要　　学校創立から約 130 年の歴史を有する伝統のあるカトリック系の学校。
12 歳～15 歳（中１～高１）までの生徒約 700 名が在籍

（3）国際交流の取組

（ア）平成 24 年度：姉妹校との盟約書調印など派遣に向けた事前準備

（イ）平成 25 年度：泉ヶ丘中学校生徒の海外派遣

（ウ）平成 26 年度：姉妹校生徒の受け入れ（予定）
（以後、派遣と受け入れを隔年で実施）

日常的に姉妹校との間で全校生徒による手紙の交換、ＤＶＤや写真による学校行事等の紹介などを行い、国際理解教育の推進を図る。

（4）海外派遣事業

（ア）派遣期間・生徒数・活動内容

① 派遣期間は夏季休業中の 10 日間程度、派遣年度に在籍する生徒を対象とし 10 名以内を代表として派遣する。

② 現地滞在中はホームステイ、姉妹校での通常授業や学校行事等へ参加する。

③ 事業終了後、派遣生徒は校内及び小学校、町行事などでその成果を普及する。

（イ）費用等

海外派遣に要する費用は井手町が設置する「井手町中学生夢・未来支援国際交流基金条例」に基づき、予算の範囲内において井手町が負担する。但し、旅券や入国査証等の交付手数料など個人の用に供する費用は除く。

（5）姉妹校生徒の受入れ

（ア）受入れ期間・生徒数・活動内容

① ９月中旬の 10 日間程度、10 名以内の姉妹校生徒を受け入れる。

② 本校在籍生徒の家庭からホームステイ先を募集し、家族全体で交流を図る。

③ 通常授業や特別行事での交流により、語学力の向上や異文化への理解を深める。

3　調べる学習地域コンクール事業

（1）主催
井手町教育委員会

（2）共催
井手町学校図書館ネットワーク会議

（3）後援
公益財団法人　図書館振興財団

（4）事業目的
図書館資料をはじめ様々な情報を活用した調べる学習を通じて、児童生徒自らが考え、判断し、表現する力をはぐくむ。また、その活動の中で応募された作品を評価し、図書館利用の促進と調べる学習の普及を図る。

（5）作品応募対象
井手町内在住・在学の小・中学校の児童・生徒及び保護者

（6）各賞
（ア）町　長　賞（小学生の部／低・中・高学年、中学生の部）
（イ）教 育 長 賞（小学生の部／低・中・高学年、中学生の部）
（ウ）審査委員長賞（小学生の部／低・中・高学年、中学生の部）

（7）参加賞
応募者全員に参加賞を贈呈

（8）表彰
応募の啓発と入賞作品の顕彰のため、「井手町調べる学習コンクール」での入賞作品は、毎年実施される井手町文化祭で各賞の表彰を行う。

（9）全国コンクールへの応募及び応募作品等の扱い
（ア）「井手町調べる学習コンクール」で入賞した作品の中から優秀作品を、「図書館を使った調べる学習コンクール」（全国コンクール）の二次審査に出品する。
（イ）「全国コンクール」で入賞した作品の著作財産権は、図書館振興財団に帰属する。

4　子ども見守り隊活動支援事業

（1）事業目的

京都府が実施する「子ども・地域の安心・安全活動支援事業」を受け、自分たちの地域は自分たちで守ろうという決意のもと、自発的に一致協力して行う「子ども見守り隊啓発活動」などの地域防犯活動を促進し、子ども達はもとより、府民だれもが安心して安全に暮らすことのできる地域づくりを目指す。

（2）井手町子ども見守り隊加入者

井手町の子ども見守り隊は、井手地区と多賀地区でそれぞれ組織され、井手町全体では約380名の参加者のもとで活動を実施している。

（3）見守り隊活動内容

（ア）青色パトロールカー巡回活動
（イ）登下校時パトロール活動
（ウ）京都府警察音楽隊、京都府警察平安騎馬隊、京都府警察カラーガード隊等の招聘
（エ）見守り隊活動啓発用のぼり旗設置

通学区域の指定

井手町内に在住する児童生徒の通学する学校は、住居地により次のように指定されている。

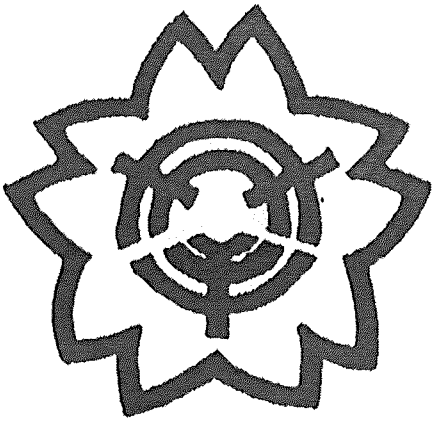
（１）井手小学校
大字井手全域（但し、小字平山を除く）
大字田村新田全域（但し、５年生以上）

（２）井手小学校有王分校
大字田村新田全域（但し、１年生から４年生まで）

（３）多賀小学校
大字多賀全域
大字井手小字平山

（４）泉ヶ丘中学校
井手町内全域

井手小学校



井手小学校校歌

作詞　平林　博
作曲　田中新也

一、
その名もゆかし　山吹の
古き歴史を　うけつぎて
日にむつみあい　はげみあう
われらが　学びや
あゝ井手小学校

二、
流れも清し　玉川の
小じゃりを洗う　さゝやきや
日に清めあい　みがきあう
われらが　学びや
あゝ井手小学校

井手町立井手小学校

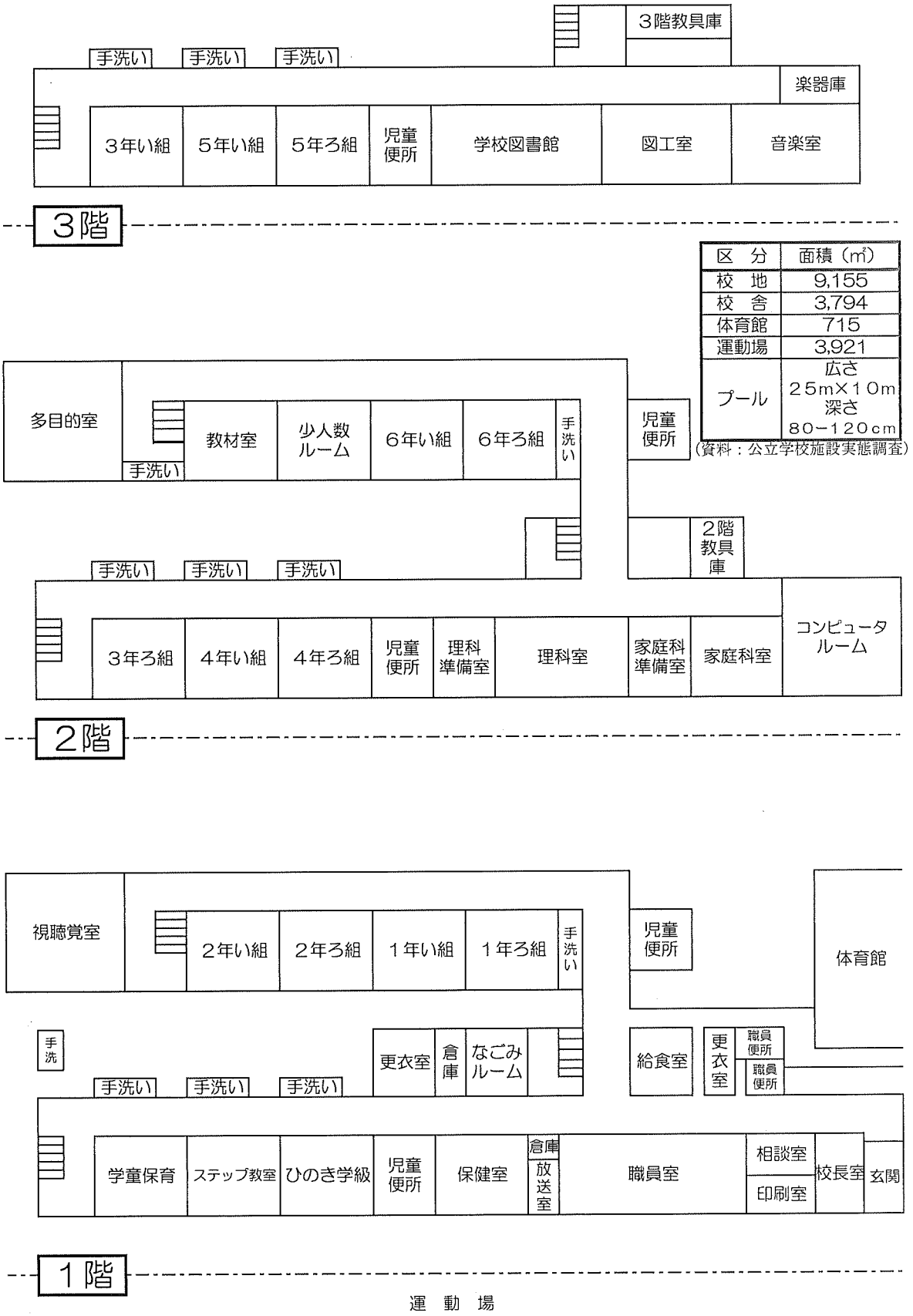
京都府綴喜郡井手町大字井手小字野神３８番地

ＴＥＬ　０７７４－８２－２１１９
ＦＡＸ　０７７４－８２－２２２６
http://www.kyoto-be.ne.jp/ide-es/

井手町立井手小学校有王分校

京都府綴喜郡井手町大字田村新田小字有王１３番地

〔1〕教室配置図



区　分	面積（㎡）
校　地	9,155
校　舎	3,794
体育館	715
運動場	3,921
プール	広さ 25m×10m 深さ 80−120cm

（資料：公立学校施設実態調査）

〔2〕 沿 革 史

学 校 長	年 月	主 な 事 項
小笠原 長 道 (明治 5. 9～ 8. 5)	明治 5. 8 〃 5. 9 〃 5.12 〃 6. 4 〃 7.	学制領布により学校制度発足 初代小笠原校長着任 開校準備に当たる 村内宮本家の民家を借り井手小学校として開校 授業開始 水無の修新築校舎(現玉川保育園所在地)に移転 上井手の正法寺本堂を校庭に移転、講堂とする
河 本 文 蔚 (明治 8. 5～12. 3)	〃 8. 5 〃 9.	現有王分校は相楽郡田村小学校として創立開校 校舎改築(平屋建65坪、2階建15坪新築)
高 田 英四郎 (明治12. 4～17. 4)		
相 良 則 文 (明治17. 4～19. 3)		
杉 村 晴 量 (明治19. 3～21. 9)	〃 19. 4 〃 20.	小学校令公布、井手尋常小学校と改称、4ヶ年の義務教育となる 現有王分校は相楽郡西和束尋常小学校有王分校と改称
井 手 力之助 (明治21. 9～23. 5)	〃 21. 4 〃 23.	市町村制公布により新井手村発足 現有王分校は市町村改編により田村新田が井手村に編入のため、井手尋常小学校有王分校と改称
布 浦 伊三郎 (明治23. 6～30. 6)	〃 23. 8 〃 26. 〃 26. 4 〃 (29. 4)	第1回同窓会開かれる 井手、多賀、青谷村組合立泉東高等小学校(3年制)開校 有王尋常小学校と改称 (現JR奈良線、当時「私鉄奈良鉄道」全線開通)
小 山 彌三郎 (明治30. 7～31. 9)	〃 30.	田村新田尋常小学校と改称
片 桐 謙 一 (明治31. 9～33. 8)		
冨 井 常 松 (明治33. 9～35. 9)		
寺 島 貫三郎 (明治36. 4～38.10)	〃 38. 3	講堂改築、教室平屋建70坪新築
中 坊 民次郎 (明治38.10～44. 3)	〃 40. 3 〃 40.10 〃 43. 4 〃 43.11	小学校令改定、尋常小学校修業年限6ヵ年となる 実業補習学校を当校に併設 高等科(2年制)を併設し、井手尋常高等小学校と改称 旧教室全部を改築し、平屋建115坪新築
寺 島 貫三郎 (明治44.4～大正8.12)	〃 44. 4 〃 45. 4 大正 2. 4	井手尋常高等小学校田村新田分教場と改称(3年生まで通学) 農業科を加設し、実習地を定む 教室25坪増築
乾 源一郎 (大正 9. 4～11. 3)		
中 島 安 猪 (大正 11. 4～11. 6)		
芦 田 重太郎 (大正11. 7～12. 3)	大正 11.10	創立五十周年記念式挙行
村 上 徳治郎 (大正12. 4～13. 3)		
北 川 博 直 (大正13.4～昭和4.3)	〃 15. 7 昭和 2. 1 〃 4. 2	青年訓練所を併設 町制施行により井手村を井手町と改称 現所在地に校舎竣工、移転

学　校　長	年　月	主　な　事　項
大 西 庄太郎 (昭和 4. 4～ 6. 9)		
奥 谷 愿 正 (昭和 6.9～ 9. 3)	昭和 7. 6	実業補習学校を実務学校と改称し女子部復活
大 江　肇 (昭和 9. 4～14. 3)	〃 9. 9 〃 11.10 〃 12. 3	室戸台風により校舎半壊、校下10ヵ所に分散授業 新校舎竣工(普通)教室16 (特別)教室4 有王分校現在地に校舎竣工、移転
福 井 貞 利 (昭和14. 4～17. 3)	〃 16. 4	国民学校令施行により井手国民学校と改称
逢 坂 米 吉 (昭和17. 4～21. 4)	〃 19. 〃 19. 〃 20.12	伏見区板橋国民学校よりの学童集団疎開受入れ 日本コンデンサー井手工場に学徒動員 木津川原で終戦処理火薬爆発のため校舎被害甚大
由 水　茂 (昭和21. 4～22. 5)	〃 22. 4	学校改革により井手小学校と改称
乾　善 司 (昭和22. 5～26. 3)	〃 22.10	井手小学校育友会発足
塩 野 十三吉 (昭和26. 4～30. 3)	〃 27.11 〃 28. 8 〃 29.11	法改正により井手町教育委員会設置 南山城水害のため、本校校舎260坪、分校校舎21坪流出 講堂兼体育館等 157坪竣工
平 林　博 (昭和30. 4～35. 3)	〃 30. 7 〃 33. 4 〃 33. 4 〃 33. 6 〃 35. 1	本館等 270坪竣工 井手町多賀村合併、新井手町発足 障害児学級開設 町簡易水道による校内配水開始 校内より出火、11教室全焼
山 副 芳 男 (昭和35. 4～40. 3)	〃 36. 3 〃 36. 7 〃 37. 3 〃 39. 3 〃 39. 5	鉄筋2階建校舎(10教室)竣工 水泳プール竣工(育友会積立金、財産区寄贈金による) 中庭庭園、育友会より寄贈完成 井手小学校教育後援会発足 中庭完成
林　鎮 雄 (昭和40. 4～44. 3)	〃 41. 6 〃 42. 4 〃 42.11 〃 44. 3	プール浄化機新設 センター方式による学校給食開始 文部省研究指定同和教育研究発表 井手小学校教育後援会解散
村 上 武 一 (昭和44. 4～47. 3)	昭和 45. 〃 46.12	日本水泳連盟より全国優秀小学校表彰受賞 井手小学校創立百周年記念式挙行
森　善 一 (昭和47. 4～49. 3)		
野 村 康 二 (昭和49. 4～51. 3)	〃 49.11 〃 50. 3	有王分校創立記念式挙行 教具室、ブロック塀、非常階段完成
滋 野 幸 雄 (昭和51. 4～52. 3)	〃 52. 3	講堂の床改修
小 牧　盂 (昭和52. 4～55. 3)	〃 53. 4 〃 53. 〃 54. 〃 54.	分校運動場拡張、遊具移動 プール浄化機更新 校庭南側フェンス更新 綴喜育友会研究大会会場校
山 本 皖 一 (昭和55. 4～56. 3)	〃 55. 7 〃 55. 8	プール改修 講堂外部塗装改修

学　校　長	年　月	主　な　事　項
中津川　敬　朗 (昭和56. 4～61. 3)	〃　56.11	南校舎新築完成(普通9、特別17)鉄筋3階建 中庭整備(観察池、禽舎、芝生、ベンチ)育友会寄贈による
	〃　57. 6	毎月13日を「安全の日」と設定
	〃　58. 9	綴喜育友会研究大会会場校
	〃　59. 4	野神跨線改修
	〃　59. 6	「安全の旗」制定(育友会寄贈)
	〃　59. 8	北校舎窓枠取替工事完成(北側)
	〃　60. 7	校歌額修繕
	〃　60. 8	北校舎窓枠取替工事完成(南側)
	〃　60. 8	北校舎屋上防水工事完成
	〃　60.10	府小研社会科教育研究大会会場校
安　井　　亨 (昭和61.4～平成元.3)	〃　61. 8	焼却炉の更新
	〃　62. 8	北校舎教室の背面黒板の改修
	〃　62.11	綴喜育友会研究大会会場校
	〃　62.11	第57回全日本アマチュアボクシング選手権大会 (国体リハーサル大会)練習会場
	〃　63. 8	校庭西側フェンス改修
	〃　63.10	第43回国民体育大会(井手町ボクシング会場)見学、参加
	平成元. 1	綴喜地方学校給食研究会会場校
木　村　和　智 (平成元. 4～ 7. 3)	〃　4	有王分校竣工式・開校式
	〃　2. 2	プール改造工事完成
	〃　2. 6	プール竣工式
	〃　3～4	京都府教育委員会教育実践推進校国語の指定を受ける
	〃　3. 9	よい歯の学校表彰受賞
	〃　4. 9	よい歯の学校表彰受賞
	〃　5. 2	京都府教育委員会教育実践推進国語科教育研究発表会
	〃　5. 9	よい歯の学校表彰受賞
	〃　6. 6	体育館全面改築工事(H7.1末完成)
	〃　6. 7	機械警備開始
	〃　7. 2	体育館竣工式
宮　嶋　勝　吉 (平成 7. 4～12. 3)	平成 7～	指導方法の改善(TT)加配設置
	〃　7. 6	毎月2日を「安全の日」、毎月13日を「安全点検の日」と設定
	〃　8～	教育改善モデル校
	〃　9～	学童のボランティア活動普及事業の指定を受ける 愛鳥モデル校の指定、みどりの少年団の結成
	〃　10. 1	焼却炉廃止
	〃　10.10	コンピュータ教室設置
	〃　11. 3	公共下水道接続工事完成
	〃　11.10	みどりの少年団全国表彰(優良賞)受賞
	〃　11.11	全国花いっぱいコンクール優秀賞受賞
	〃　12. 2	北校舎竣工式　PTA花壇の設置
木　下　惠三郎 (平成12. 4～18. 3)	〃　12.11	綴喜地方学校給食研究協議会会場校
	〃　13. 4	綴喜交通安全協会より交通安全活動表彰受賞
	〃　14. 4	児童支援加配と少人数加配設置
	〃　14. 5	府小研総合的な学習の時間研究協力校指定(2年間)
	〃　14.11	府小研総合的な学習の時間中間発表会
	〃　15 ～	愛鳥モデル校の指定継続
	〃　15. 4	井手町立児童クラブを学校敷地内に開設
	〃　15.11	府小研総合的な学習の時間研究発表会
	〃　16. 3	京都地方法務局と京都府人権擁護委員連合会の「人権の花」運動の推進に協力
	〃　16. 4	学力向上支援事業(文部科学省指定)研究協力校
	〃　17.12	井手小学校ホームページ開設

学　校　長	年　月	主　な　事　項
玉 井 啓 介 (平成18. 4～21. 3)	〃 18. 4	「ジョイントアップ研究開発」研究推進校　～平成19年度
	〃 18. 5	学校図書館支援センター推進事業
	〃 18. 8	南校舎普通教室電灯増
	〃 18. 8	コンピュータ新機種更新
	〃 18.12	「私のアイディア貯金箱」学校表彰受賞
	〃 19. 2	「人権の花」運動推進協力への感謝状受賞
	〃 19.11	「ジョイントアップ研究開発」研究のまとめ発表会
	〃 20. 3	学校図書館図書標準達成率100%達成
	〃 20. 9	空調設備設置(職員室・ひのき学級・5年・6年)
中 村　　満 (平成21. 4～26.3)	〃 21. 5	愛鳥モデル校指定(3年間)
	〃 21. 7	「人権の花」参加協力校
	〃 21. 8	空調設備設置(図書館・1年・2年・3年・4年)
	〃 21.10	「人権の花」伝達式
	〃 22. 3	「人権の花」感謝状贈呈式
	〃 22. 3	太陽光パネル設置・太陽光発電開始
	〃 22. 8	トイレ改修工事完成、 廊下・トイレにLED電灯設置
	〃 23.10	文部科学省委託「井手町学校施設エコスクール化調査研究委員会」設置に伴う調査研究開始
	〃 24. 5	愛鳥モデル校指定継続(3年間)
	〃 24. 6	プール改修工事完了
	〃 24. 9	職員トイレ改修工事完成
	〃 24. 11	京都府学校給食研究会研究発表会
	〃 25. 1	南側フェンス整備工事完成
	〃 25. 3	昇降口改修・防球ネット設置
	〃 25. 5	愛鳥モデル校指定継続(4年間)
	〃 25. 6～	土曜日を活用した教育活動開始
	〃 25. 10	PM2.5測定局設置
中田 邦和 (平成26.4～　　)	〃 26. 5	愛鳥モデル校指定継続(5年間)
	〃 26. 6	平成26年度「学力向上トライアル校」事業指定
	〃 26. 12	トイレ・放送機器・教室LED照明・体育館照明改修工事

〔3〕教　育　方　針

1　学校教育目標

地域とのつながりの中で、子どもを包み込み、育む学校

（1）本校のめざす学校像

大人社会で誠実に生きる為のルールが学べる、楽しい学校

（2）本校のめざす児童像

よく考え、健康で、仲間を大切にする子

（3）本校のめざす教師像

真摯さをもち、この子をよい子に育てる為に、何が正しいかを考える教師

2　学校経営方針（中期経営目標）

（1）子どもたちの学力向上をめざし、学校の組織力、教師の授業力、指導力量の向上を図る。

（2）規律と潤いの中で、一人一人が安心して充実した学校生活を送れるように努める。

（3）地域総がかりで子どもを育むための実践に取り組み、まちづくり教育を推進する。

3　本年度の重点

（1）子どもたちの学力向上をめざし、学校の組織力、教師の授業力、指導力量の向上を図る。

ア　話の聴き方、発表の仕方等を系統的に統一し、授業規律の定着を図る。

イ　家庭と連携し、発達段階に応じた家庭学習習慣の定着を図る。

ウ　言語活動・理数教育・伝統や文化に関する教育・道徳教育・外国語活動等の充実を図る。

エ　学校評価や教職員評価を活用し、よりライン化を進め、学校の組織力の向上を図る。

（2）規律と潤いの中で、一人一人が安心して充実した学校生活を送れるように努める。

ア　全校児童に安全帽を着用させることをとおして、ルールを守る大切さを教える。

イ　身近な人権問題をとおして、人権感覚を向上させるとともに実践的な態度を育成する。

ウ　丁寧に話を聞くなど、児童を納得させることに心がけ、心を耕す指導に努める。

エ　教育活動のあらゆる場面で「好きな者同士」という指導放棄をしない。

（3）地域総がかりで子どもを育む為の実践に取り組み、まちづくり教育を推進する。

ア　「いでっ子応援隊」の計画的な取組をとおして地域と連携した幅広い教育活動に努める。

イ　家庭や地域と連携し、基本的な生活習慣の向上を図る。

ウ　学校評議委員会や見守り隊と協力し、安全な生活を営む実践力を育てる。

エ　地域行事に積極的に参加し、地域と学校との繋がりを強める。

〔4〕児童数

Ⅰ　学年・学級別児童数　　（学校基本調査　平成２６年５月１日現在）

学年	組	児童数			学年合計	家庭数
		男子	女子	計		
１年	い	16	8	24	48	12
	ろ	15	9	24		14
２年	い	8	10	18	36	8
	ろ	8	10	18		13
３年	い	9	8	17	35	12
	ろ	10	8	18		14
４年	い	12	11	23	46	19
	ろ	12	11	23		17
５年	い	15	9	24	46	23
	ろ	14	8	22		19
６年	い	12	9	21	43	20
	ろ	13	9	22		20
ひのき学級		1	2	3	3	3
合　　計		145	112	257	257	194

Ⅱ　地区別児童数

（学校基本調査　平成２６年５月１日現在）

地区／学年	南	北	石垣	玉水	水無	上井手高月	有王	合計
１年	11	6	7	10	10	4	0	48
２年	4	6	8	8	1	9	0	36
３年	6	3	7	13	2	4	0	35
４年	7	10	10	8	5	7	0	47
５年	7	14	9	9	4	5	1	49
６年	9	10	9	6	3	5	0	42
合計	44	49	50	54	25	34	1	257

〔5〕年間行事計画

学　校　行　事　の　目　標			
学校行事をとおして、望ましい人間関係を形成し，集団への所属感や連帯感を深め，公共の精神を養い，協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的，実践的な態度を育てる。			
月	儀式的行事	文化的行事	健康安全・体育的行事
行事のねらい	学校生活に有意義な変化や折り目を付け，厳粛で清新な気分を味わい，新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと。	平素の学習活動の成果を発表し，その向上の意欲を一層高めたり，文化や芸術に親しんだりするような活動を行うこと。	心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め，安全な行動や規律ある集団行動の体得，運動に親しむ態度の育成，責任感や連帯感の涵（かん）養，体力の向上などに資するような活動を行うこと。
4	・着任式 ・始業式 ・入学式		・身体測定 ・健康診断（視力、聴力、尿・蟯虫卵）
5		・１年生を迎える会	・体重測定 ・健康診断（心電図、眼科、耳鼻科、血液） ・交通安全教室（1.2.3.4年） ・体力テスト
6		・警察音楽隊・騎馬隊	・体重測定 ・健康診断（内科、歯科） ・プール開き
7	・終業式		・体重測定 ・臨海学習前健康相談（５年） ・町水泳交歓記録会（６年）
8	・始業式		
9			・身体計測 ・運動会
10			・体重測定 ・視力検査 ・林間学習前健康相談（４年） ・健康診断（尿・蟯虫卵）
11		・芸術鑑賞会	・体重測定 ・避難訓練 ・町陸上運動交歓記録会（５．６年） ・持久走大会前健康相談
12	・終業式		・体重測定 ・持久走大会
1	・始業式		・身体測定 ・避難訓練
2		・学習発表会 ～６年生を送る会～	・体重測定
3	・卒業証書授与式 ・修了式		・体重測定
備考	４月 離任式		

月	遠足・集団宿泊的行事	勤労生産・奉仕的行事	その他
行事のねらい	自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって，見聞を広め，自然や文化などに親しむとともに，人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。	勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに，ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。	
4		・入学式準備（６年）	・家庭訪問
5	・春の社会見学（1.2.3.4年）		・授業参観 ・懇談会 ・PTA総会
6	・修学旅行（６年）	・プール清掃（６年）	・学校公開 ・PTA学年行事 ・PTA自転車免許講習会 ・授業参観 ・クラブ活動参観
7	・臨海学習（５年）	・大掃除	・個別懇談会
8		・クリーン作戦	
9		・運動会準備（5.6年）	・学校公開
１０	・秋の社会見学（1.2.3.5.6年） ・林間学習（４年）		・授業参観 ・懇談会
11			・個別懇談会
12		・大掃除	
1			・授業参観 ・PTA講演会
2			・授業参観 ・懇談会 ・学校公開
3		・卒業式準備（５年） ・大掃除	
備考			

〔６〕　教職員組織

学年組／職名	氏　　名	校　　務　　分　　掌　　等
校　長	中　田　邦　和	
教　頭	中　島　禎　宏	
教務主任	加　藤　益　丈	教務主任・保健主事
児童支援加配	田　中　博　之	人権教育推進部長・情報教育・家庭地域連携推進
児童支援加配	池　尻　智恵美	健康教育主任・図画工作科・学力推進
児童支援加配	中　島　智　幸	特別支援教育推進部長(コーディネーター)
児童支援加配	庄　野　俊　宏	外国語活動主任・安全教育・家庭地域連携推進部長
指導方法工夫改善加配	稲　垣　太　郎	研究主任・算数科主任・清掃活動
ひのき学級担任	髙　井　　博	特別支援教育推進・図書館教育主任
１年い組担任	曽　原　　梓	音楽科主任・特別活動
１年ろ組担任	水　上　絢　子	生活科主任・環境教育・学力推進
２年い組担任	宮　田　　博	図画工作科主任・生徒指導推進部長
２年ろ組担任	安　井　敏　子	生活科・人権教育
３年い組担任	白　尾　尚　美	国語科主任・学力推進
３年ろ組担任	小　西　正　宏	社会科主任・情報教育
４年い組担任	西　村　好　史	社会科・人権教育
４年ろ組担任	並　木　友　季	理科主任・生徒指導
５年い組担任	金　澤　弘　樹	体育科主任・生徒指導
５年ろ組担任	奥　田　さやか	道徳推進・特別支援教育
６年い組担任	鹿　野　真　澄	特別活動主任・生徒指導
６年ろ組担任	田　口　雅　夫	家庭科主任・進路指導
養護教諭	竹　谷　陽　美	健康教育・保健指導
栄養教諭	和　田　千　鈴	健康教育・栄養指導
事務主事	山　本　真　帆	学校事務
まなび・生活アドバイザー	飯　田　悦　子	まなび・生活アドバイザー
特別支援教育指導員	藤　木　修　平	特別支援教育指導員
特別支援教育支援員	平　島　裕　美	特別支援教育支援員
心の居場所サポーター	北　　昌　代	心の居場所サポーター
小中連携	岡　田　充　代	５・６年音楽（小中連携）
ＡＬＴ	ロバート・ラムノース	外国語指導助手
図書館職員	寺　島　美由紀	学校図書館
学校用務	田　中　秀　子	学校用務
給食用務	宮　崎　たえ子	学校給食用務
学　校　医	岡　林　正　純	学校医
学校歯科医	後藤田　雅　之	学校歯科医
学校薬剤師	粟　田　　恵	学校薬剤師

多賀小学校

多賀小学校校歌

作詞　森田勝治
作曲　蔵田春平

一、ばら色の　空はれゆけば
おおらかに　のぞみあくがれ
わがすがた　うつして高し
多賀の山

二、清らけき　多賀の小川の
たゆみなく　つとめつちかい
はぐくまん　やさしきこころ
人の世に

三、うるわしの　多賀の丘べの
まなびやに　強く明るく
すこやかに　伸びゆくわれら
ほこりあり

井手町立多賀小学校

京都府綴喜郡井手町大字多賀小字内垣内２０

ＴＥＬ　０７７４－８２－２１１２

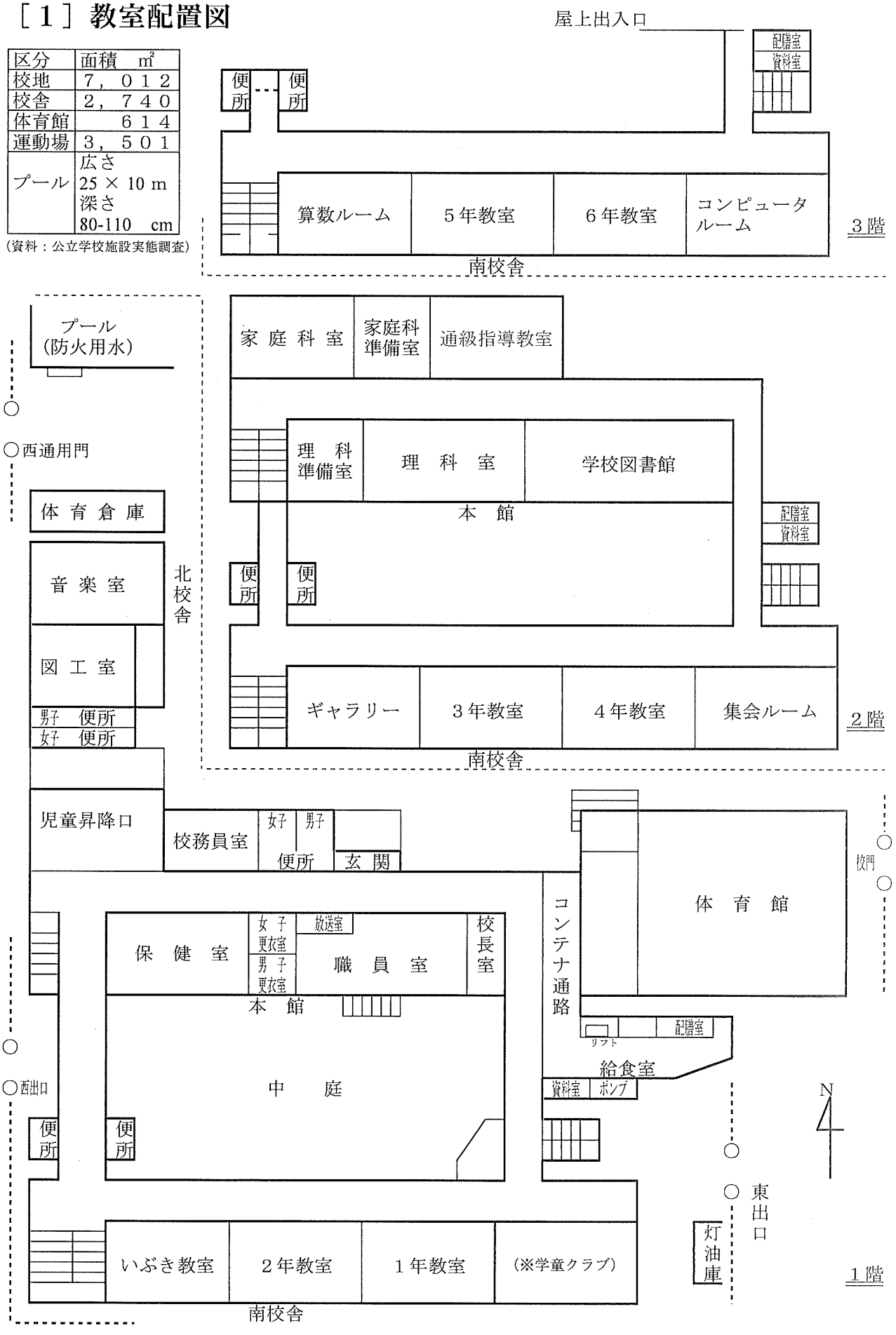
ＦＡＸ　０７７４－８２－２３４４

http://www.kyoto-be.ne.jp/taka-es/

［1］教室配置図

区分	面積　㎡
校地	7，012
校舎	2，740
体育館	614
運動場	3，501
プール	広さ 25 × 10 m 深さ 80-110　cm

（資料：公立学校施設実態調査）



〔2〕 沿 革 史

学 校 長	年 月	主 な 事 項
上 月 景 房 (明治 6. 3～ 6.10)	明治 6. 6	多賀字新造及び西北組の西方寺(安楽寺に合併)を仮校舎として開設
上 田 真 典 (明治 8. 6～ 8.12)		
飯 沼 徹 (明治11. 6～13. 7)		
野 村 準 彦 (明治13. 7～14. 4)		
上 村 奈良次郎 (明治14. 4～ 不詳)		
岡 本 廣 直 (明治15.11～30. 5)	〃 19. 4	小学校令改正により多賀尋常小学校と改称する
矢 野 善 助 (明治30. 6～31. 5)		
湯 瀬 秀 芳 (明治31.7～大正3.1)	〃 40. 3 〃 40. 4 〃 43. 4 〃 44. 4	小学校令改正尋常小学校修業年限6ヵ年となる 高等科を併設し、多賀尋常高等小学校と改称 多賀尋常小学校現在地に移転 校舎移転改築、校地整備等落成
岡 本 信 正 (大正 3. 2～ 7. 3)		
芦 田 重太郎 (大正 7. 4～11. 6)		
崎 川 秀 吉 (大正11. 6～12. 5)	大正13. 3	講堂新築、教室移転改築
浅 田 義 雄 (大正12.5～昭和3.8)		
四 方 重太郎 (昭和 3. 8～ 5. 3)		
橘 川 俊 雄 (昭和 5. 3～ 6. 6)		
中 岡 源 一 (昭和 6. 6～10. 3)	昭和 9. 7	運動場拡張
杉 澤 好 和 (昭和10. 3～14. 3)		
堀 井 東次郎 (昭和14. 3～16. 3)		
村 雲 喜一郎 (昭和16. 3～18. 3)	〃 16. 4	国民学校令施行、綴喜郡多賀国民学校と改称
伊 藤 吉 一 (昭和18. 3～24. 3)	〃 22. 4 〃 22.10	学制改革により綴喜郡多賀村立多賀小学校と改称 多賀小学校育友会発足
岡 本 茂 (昭和24. 3～27. 3)		
閼伽井 良 信 (昭和27. 4～32. 3)	〃 28. 2 〃 29. 5 〃 30. 7	南校舎一棟新築 中校舎改築 本館改築、山城多賀駅できる
小 川 信 夫 (昭和32. 4～35. 3)	〃 33. 4	町村合併により井手町立多賀小学校と改称
中 森 平 治 (昭和35. 4～38. 3)	〃 35. 6	講堂兼体育館を改築

学　校　長	年　月	主　な　事　項
森 澤 一 男 (昭和38. 4～41. 3)	昭和40. 4	プール完成
村 上 武 一 (昭和41. 4～44. 3)	〃 42. 4	学校給食センター方式により学校給食開始
森　善 一 (昭和44. 4～47. 3)	〃 44. 5	校門前花木筑山及び付近整備
橋 本 吉 治 (昭和47. 4～51. 3)	〃 47. 8 〃 47.10 〃 47.11 〃 50. 3 〃 51. 2	岩石園築造 温室を設置　2件 多賀小学校創立百周年 北校舎新築(1教室　便所　倉庫) 北校舎(音楽室)改築
杉 山 幸 治 (昭和51. 4～53. 3)	〃 52. 1	講堂の床の改修
池 田 彰 夫 (昭和53. 4～56. 3)	〃 53. 7	プール浄化槽更新
田 口 信 二 (昭和56. 4～57. 3)	〃 56. 3	本館　教室鉄筋校舎増築
安 井　亨 (昭和57. 4～61. 3)	〃 58. 6 〃 58. 9 〃 60. 8	運動場配水設備設置 運動場南側舗装・屋上フェンス補強 運動場排水路拡幅整備工事
木 村 徳 夫 (昭和61.4～平成2.3)	〃 61. 8 〃 61. 9 〃 63. 8	運動場防球ネット新設 第2図書室新設絨毯敷き 運動場西側溝改修・バックネット下一段補修 プール南入口フェンス扉改修
吉 岡 喜 作 (平成 2. 4～ 3. 3)	平成2. 5	プール内壁塗装工事完成 北校舎防球ネット更新
池 田 善 昭 (平成 3. 4～ 6. 3)	〃 4. 4 〃 5.11 〃 5. 4 〃 6. 1	京都府教育委員会教育実践推進校に指定される 〃　道徳教育研究発表会 京都府社会福祉協議会　学童のボランティア活動普及事業の指定を受ける 「さわやか賞」受賞
木 下 恵三郎 (平成 6. 4～12. 3)	〃 6. 7 〃 7. 2 〃 8. 2 〃 9. 1 〃 10. 1 〃 10. 5 〃 10. 9 〃 11. 4	機械警備開始 綴喜地方学校給食研究会会場 体育館及び給食室増改築工事完成 府学校給食努力校表彰 焼却炉廃止 多賀小学校緑の少年団結成 愛鳥モデル校指定(3年間) コンピュータ教室完成 京都府教育委員会教育実践パイロット校道徳に指定される
南 本 光 男 (平成12. 4～16. 3)	〃 12. 4 〃 12.11	山城多賀駅自由通路橋上駅舎完成 京都府教育委員会教育実践パイロット校道徳教育研究発表会開催
乾　秀 年 (平成16. 4～19. 3)	〃 16. 4 〃 16. 6 〃 16.12 〃 18. 2 〃 18. 3 〃 18. 4 〃 18. 9 〃 19. 2	文部科学省指定「学力向上支援事業」研究協力校(2年間) 「人権の花」運動実施協力校 「算数教室」設置 南校舎、北校舎耐震補強工事及び外壁塗装 多賀小学校ホームページ開設 特別支援教育充実事業(京都府教育委員会指定1年目) 「ジョイントアップ研究開発」研究推進校　～平成19年度 給食配膳棟耐震補強工事及び外壁塗装 綴喜地方学校給食研究協議会研究発表会開催

学　校　長	年　月	主　な　事　項
宇 野 一 美 (平成19. 4～22. 3)	〃 19. 4	特別支援教育充実事業(京都府教育委員会指定2年目)
	〃 19.10	みんなで読もう1000万冊読書キャンペーンKBS京都賞受賞
	〃 19.11	「ジョイントアップ研究開発」研究推進校研究発表会開催
	〃 19.11	校舎西面擁壁一部改修工事
	〃 20. 3	学校図書館図書標準達成率100%達成
	〃 20. 4	特別支援学級「いぶき」新設
	〃 20. 5	愛鳥モデル校指定更新
	〃 20. 5	井手町まなび教室事業「きらきらランド」開講
	〃 20. 9	空調施設整備(職員室、5年教室、6年教室、いぶき教室)
	〃 21. 8	1～4年生教室、図書館、算数ルームにエアコン設置
	〃 22. 1	「やましろ地域学習推進事業」実践発表
	〃 22. 3	太陽光発電システム設置・デジタル放送アンテナ設置
馬 場 泰 彦 (平成22. 4～26.3)	〃 22. 8	トイレ改修工事, 廊下・トイレにLED電灯設置
	〃 23. 3	プール改築工事終了　新プール附属施設完成
	〃 23. 10	文部科学省委託「井手町学校施設エコスクール化調査研究委員会」設置に伴う調査研究開始
	〃 24. 3	学校施設改修工事完成(家庭科室、校務員室)
	〃 24. 9	職員トイレ改修及び運動場西側防球ネット工事完成
	〃 25. 3	学校施設改修工事(運動場・普通教室・中庭・音楽室等)
	〃 25.6～	土曜日を活用した教育活動開始
	〃 25. 10	パソコン教室整備・改修工事
	〃 25. 11	府小研生活科研究発表会・自動体外式除細動器AED設置
	〃 26. 3	普通教室LED電球設置工事
山野 勉 (平成26.4～　)	〃 26. 4	通級指導教室開設
	〃 26. 8	通級指導教室改修工事

［3］教　育　方　針

1　教育目標

強く　　明るく　　すこやかに

2　めざす児童像

○強　　く……強い意志と自己を律する心をもつ子ども

○明　る　く……明朗快活で、思いやりをもち、めあてをもって自ら学ぶ子ども

○すこやかに……自他を大切にし、生活習慣の確立や健康の増進に努める子ども

3　運営方針

(1)　一人一人の児童に質の高い学力の定着を目指して、個々の児童をよく見つめ、その能力・特性を生かしながら、授業内容や質の充実・向上に努める。

(2)　一人一人の教職員の力を結集し、組織的な教育実践に努める。

(3)　特別支援学級「いぶき」を全教育活動の中に位置づけ、望ましい教育環境づくりを行 い、ゆとりと潤いある学校作りに努める。

4　本年度の重点課題

(1)　学力の充実・向上と「自ら学ぶ態度」の育成

ア　学習状況の的確な把握と習熟の程度に応じるなど、個に応じた指導の充実を図り、学力の充実・向上を目指す取組を進める。特に、志水メソッドによる、授業改善を図る。

イ　学力向上を目指す小・中学校連携の取組を更に進める。

ジョイントアップ推進事業のこれまでの成果を踏まえ、保育園も含めた保・小・中連携に取り組む。

ウ　すべての教科の基本である「ことばの力」を育み、言語活動の充実を図る取組を行い、伝え合う力の充実を図る。

エ　関心・意欲・態度など評価する観点を明確にし、学習過程の各段階において適切な評価を行い、きめ細かな指導に活かす。

オ　一人一人の学力実態を把握し、個別支援プログラムの活用など指導方法の工夫改善について、実践を通して研究し、学力の定着に努める。

カ　一斉読書や読み聞かせ、ブックトーク、推薦図書の紹介等読書活動を推進し、図書館を活用した調べる学習を実施する。（地域コンクールへの積極的な参加）

キ　学生パワー活用事業を活用し、個に応じた支援の在り方を実践的に研究する。

(2)　地域社会と協働して実践する「まちづくり教育」の推進

まちの自然・歴史・人材等地域の教育力を生かし、将来のまちづくりの主人公の育成を目指す「まちづくり教育」を推進する。

(3)　道徳教育の充実

ア　指導内容や指導方法の充実を図り、豊かな心を育てる道徳教育を進める。

（道徳副読本、私たちの道徳、京の子ども明日へのとびらの活用）

イ　道徳的実践の場としての体験的な活動や奉仕活動を行い、家庭との連携を深める。

（道徳の授業公開を実施）

(4)　特別活動の充実

ア　児童の自主的な実践活動を重視し、活動内容の充実を図る。

イ　集団の中で、正しく自己表現できる児童の育成に努める。

(5)　特別支援教育の充実

ア　特別支援学級「いぶき」の理解教育に努める。

イ　特別支援教室構想を具体的に推進し、教育課題を明確にし、個に応じた指導内容、方法を工夫し、指導の充実を図る。

ウ　特別支援教育コーディネーターを機能的に運用し、障害のある児童を学校全体として支援する体制の整備を図る。

エ　通級指導教室を開設し、個々の児童の障害の状態等に応じた具体的な指導目標や内容を定めて指導の充実を図る。

(6)　人権教育の充実

ア　教職員自身の人権感覚を育てる研修を深める。

イ　すべての教育活動の中で、人権尊重の精神を養い実践的態度を育てる。

（人権教育指導事例集の活用）

(7)　生徒指導の充実

ア　児童理解に努め、温かい人間関係の中での生活を通して、深い信頼関係に基づく人間関係の育成に努める。

イ　いじめを許さない日頃の指導と、早期発見・早期対応に努める。

ウ　家庭や地域との連携を密にし、地域ぐるみでの子どもの健全育成を目指す。

(8)　健康教育の推進

ア　子どもの体力・運動能力の向上を図る。生涯を通して運動やスポーツを楽しもうとする意志を養い、自ら体力づくりに取り組む児童を育てる。

イ　性教育等の発達段階に応じた指導の在り方を研修し、実践に努める。

ウ　望ましい食習慣を身に付け、健康的な生活を自ら実践する能力と態度の育成に努める。

(9)　安全教育の推進

ア　自他の安全を意識して行動できる児童を育てる。

イ　不審者対応を含め、校舎内外の児童の安全確保の徹底に努める。

ウ　多賀小学校見守り隊との連携を密にし、学校内外での児童の安全確保のための体制作りに努める。

(10)　情報教育の推進

ア　情報ネットワークやコンピュータなどに慣れ親しみ、身近な道具として適切に使いこなせる能力と態度を育成する。

イ　プライバシーの保護や著作権などの基礎的な情報モラルやマナーを育成する。

［4］児　童　数

1　学級児童数　　学校基本調査　平成 26 年 5 月 1 日現在

学　年	学　級	男　子	女　子	計	家　庭　数
い　ぶ　き		1	0	1	1
1	年	7	8	１５	7
2	年	１３	9	２２	１２
3	年	１０	6	１６	１３
4	年	8	１０	１８	１６
5	年	6	9	１５	１４
6	年	１０	8	１８	１８
合	計	５５	５０	１０５	８１

2　地区別児童数

学　年	学　級	東　部	西　部	南　部	北　部	合　計
1	年	4	0	7	4	１５
2	年	8	1	8	5	２２
3	年	4	2	4	7	１６
4	年	6	1	3	7	１８
5	年	5	1	4	5	１５
6	年	8	1	7	3	１９
合	計	３５	6	３３	３１	１０５

［5］年間行事計画

項目	儀式的行事	学芸的行事	健康安全・体育的行事
4	・始業式 ・入学式		・交通安全教室 ・身体測定 ・検尿・ぎょう虫卵検査 ・聴力検査 ・視力検査 ・内科検診 ・血液検査（６年） ・心臓検診（１・４年）
5			・すこやか週間 ・体力テスト（全学年） ・避難訓練（地震） ・修学旅行事前検診（６年） ・耳鼻科検診
6		・文化鑑賞会	・プール開き ・体重測定 ・歯科検診 ・眼科検診
7	・終業式		・井手町小学生水泳交歓記録会（６年）
8	・始業式		・すこやか週間 ・避難訓練（風水害）
9		・夏休み作品展	・運動会 ・身体測定
１０			・井手町小学生陸上運動交歓記録会（５・６年） ・視力検査 ・検尿・ぎょう虫卵検査 ・駅伝前検診 ・林間学習前検診（４・５年） ・二種混予防接種（６年）
１１		・文化の集い	・体重測定 ・マラソン前検診
１２	・終業式		・避難訓練（不審者対応） ・校内マラソン記録会
１	・始業式	・書き初め会 ・書き初め展	・身体測定 ・すこやか週間
２			・避難訓練（火災）
３	・卒業証書授与式 ・修了式		・体重測定
その他			・毎月安全点検（安全の日） ・登校指導

項目	遠足・集団宿泊的行事	勤労・奉仕的行事	児童会行事	その他
4	・春の遠足 (いぶき・１～５年)	・大掃除	・地域児童会	・家庭訪問
5	・修学旅行（６年）		・一年生を迎える会 （仲良し班出発式） ・交流給食	・授業参観 ・ＰＴＡ総会・ 学級懇談会
6		・プール清掃 （６年） ・ボランティア活動	・交流遊び ・交流給食	・土曜参観
7		・大掃除	・地域児童会 ・全校お楽しみ会	・個人懇談会
8			・地域児童会	
9			・運動会結団式	
１０	・社会見学 （１～３、６年） ・林間学習 (いぶき・４・５年)	・ボランティア活動	・本部役員選挙 ・読書週間	・授業参観 ・学級懇談会
１１			・文化の集いに向けて ・交流給食 ・交流遊び	・個人懇談会
１２		・大掃除	・マラソン記録会 ・地域児童会	
1		・大掃除		・授業参観
2			・本部役員選挙 ・６年生を送る会 ・全校交流会 ・交流給食	
3		・大掃除	・地域児童会	
その他			・児童集会 (第１・３水曜日) (全校合唱)	

〔６〕 教職員組織

職名	氏　　名	主たる校務分掌
校　　長	山 野　　勉	
教　　頭	櫛橋 卓仁	
教務主任	杉本 俊恵 (特別支援コーディネーター)	人権教育、ＪＵ研究推進委員、保健主事 教育相談、特別支援教育、生徒指導
いぶき 学級担任	清水 澄江	特別支援教育、教育相談、安全教育 特別活動、音楽科、社会科
１年担任	完　　祐 (司書教諭)	生徒指導、清掃教育、図書館教育、国語科 生活科
２年担任	鈴木 佳代	研究主任、生徒指導、算数科、体育科 ＪＵ研究推進委員
３年担任	永田 裕貴	生徒指導、体育科
４年担任	竹村 賢治	食育、特別活動、図工科
５年担任	藤原 一輝	特別活動、情報教育、総合的な学習、音楽科
６年担任	民岡　　薫	国際理解教育、環境教育、情報教育 特別活動、外国語活動、理科、家庭科
通級指導 教室担当	鈴本 尚美 (特別支援コーディネーター)	生徒指導、特別支援教育、教育相談道徳
小中連携 音楽担当	岡田 充代	５・６年音楽（小中連携音楽授業）
ＡＬＴ	ロバート・ラムノース	外国語指導助手
養護教諭	吉村惠津子	健康教育、教育相談、生徒指導、特別支援教育
主　事	水口 由貴	学校事務
特支支援員	徳本富美江	個別、学年補助等
校務員	古田 紀子	学校用務
給食受入 配分員	藤林かおる	給食用務
校　医	水野　　寿	
歯科医	後藤田 雅之	
薬剤師	粟田　　恵	

泉ヶ丘中学校

校歌

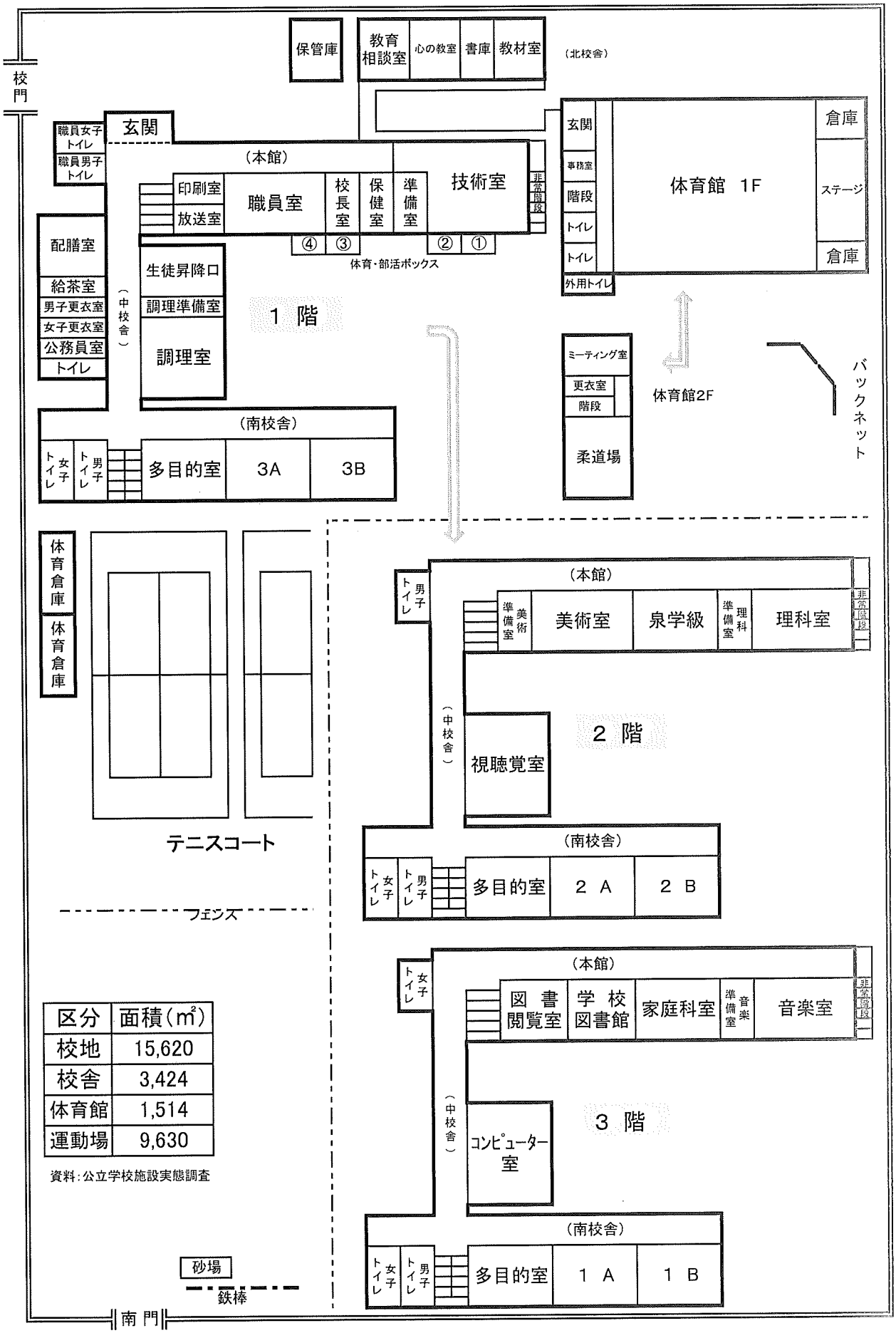
作詞　中谷志津枝
作曲　松村左武郎

一　山吹匂う　玉川の
朝風うけて　励みあう
泉ヶ丘の若人は
深い緑の故郷に
高嶺を仰ぎたくましく
ほまれに生きて進みゆく

二　綾雲なびく　丘の上
血潮はもえて　立ちあがる
泉ヶ丘の若人は
詩歌になにおう故郷に
真理をきわめ新しく
望みに生きて進みゆく

井手町立泉ヶ丘中学校
京都府綴喜郡井手町大字井手小字橋ノ本２０番地
TEL　０７７４－８２－２０７０
FAX　０７７４－８２－２２０１
http://www.kyoto-be.ne.jp/izumigaoka-jhs/

〔1〕 教室配置図



区分	面積(㎡)
校地	15,620
校舎	3,424
体育館	1,514
運動場	9,630

資料：公立学校施設実態調査

〔2〕 沿　革　史

学　校　長	年　月	主　な　事　項
由水　茂(井手中学校) (昭和22. 5～22.10)	昭和22. 5	井手町立井手中学校、町立井手小学校校舎の一部を使用して発足
荻野金次郎(泉東中学校) (昭和22. 5～24. 3)	〃 22. 5	綴喜郡青谷村多賀村組合立泉東中学校、青谷村立青谷小学校校舎の一部多賀村立多賀小学校校舎の一部を使用して発足
宮川　厳(井手中学校) (昭和22.11～24. 3)	〃 22.11	井手町立井手中学校、井手町大字井手小字橋ノ本にある元日本飛行協会所属の玉水滑空訓練所宿舎を買収改造して独立の校舎とし、移転する
村　雲　喜一郎 (昭和24. 4～29. 3)	〃 24. 4	井手町立井手中学校、綴喜郡青谷多賀村組合立泉東中学校を合併して、綴喜郡井手町青谷村多賀村組合立泉ヶ丘中学校として発足。当分の間本校とともに二分教室を置き、統合校舎建築まで、分教室はそれぞれの出身町村小学校校舎の一部を使用する
	〃 26. 3	綴喜郡青谷村は久世郡城陽町と合併し、学校組合から分離したため、青谷教室を廃止し、井手町多賀村組合立泉ヶ丘中学校となる
	〃 27. 1	統合校舎地を当時の泉ヶ丘中学校の校地にあてる
	〃 28. 3	新校舎付帯工事75坪竣工　運動場が拡張される
	〃 28. 5	校舎が完成し、分教室を廃止する
	〃 28. 8	南山城水害によって建物流出、大破、運動場埋没、整備、備品等流出。生徒死亡、重傷等甚大な被害を受ける
	〃 28. 9	新校舎200坪竣工(普通教室、渡廊下及び便所)
青　木　喜代治 (昭和29. 4～36. 3)	〃 30.10	新校舎75坪竣工(普通教室)
	〃 32.10	創立10周年記念式を遂行し、校旗、校歌を制定する
	〃 33. 4	町村合併によって綴喜郡井手町立泉ヶ丘中学校と改称する
	〃 35. 6	体育館180坪竣工
西　谷　茂　男 (昭和36. 4～38. 3)	〃 36. 8	工作室24坪竣工
	〃 38. 3	新館鉄筋3階建一期工事　217坪竣工
岡　山　正　男 (昭和38. 4～41. 3)	〃 39. 6	新館鉄筋3階建二期工事　244坪竣工
	〃 39.12	本館並びに調理室、校務員室の落成
	〃 40.10	運動場を拡張
平　井　彰　一 (昭和41. 4～43. 3)	〃 41. 4	校地周囲の植樹記念事業が行われる
	〃 42. 4	センター方式による学校給食開始
小　山　米　次 (昭和43. 4～44. 3)		
森　澤　一　男 (昭和44. 4～46. 3)	〃 45. 8	クラブボックス18室が完成　南校舎改修
奥　田　利　助 (昭和46. 4～49. 3)	〃 46. 9	体育館改修
	〃 47. 8	本館屋上改修
	〃 48. 4	生徒便所を新築
松　井　寛　治 (昭和49. 4～52. 3)	〃 49. 4	小教室4部屋を新築
	〃 50～51	京都府教育委員会生活指導研究実践校に委嘱される
	〃 51. 8	体育館床改修
松　本　雅　之 (昭和52. 4～54. 3)	昭和 54. 3	鉄筋南校舎竣工(9教室)

学　校　長	年　月	主　な　事　項
遠　藤　光　男 (昭和54. 4～57. 3)	〃 54. 4 〃 55. 3 〃 55. 8 〃 56. 7	運動場に防球ネット設置 校地南側のフェンス、校門、東門の門扉が完成 本館外装、屋上防水、その他改修 屋外バレーコート新設
松　本　節　男 (昭和57. 4～61. 3)	〃 57. 6 〃 57.12 〃 58. 8 〃 59. 8 〃 59. 8 〃 60. 8 〃 60. 8	南門完成 防球ネット拡張 理科室床張替、体育館便所改修 体育館内装工事完成 女子職員便所完成 国旗掲揚台設置 体育館屋根改修
中津川　敬　朗 (昭和61.4～平成元.3)	〃 62～63 〃 62. 2 〃 63. 8	京都府教育委員会教育実践推進校(国語)を委嘱される 中校舎竣工、本館改修 本館窓枠・1階改修
丸　岡　正　美 (平成元. 4～ 4. 3)	平成 1. 8 〃 2. 8 〃 2.12 〃 3. 9	本館2階・3階改修 体育館外装・玄関・柔道場改修 グラウンド全面改修 体育館大規模改修
八　幡　覚　堯 (平成 4. 4～ 9. 3)	〃 4.12 〃 5. 8 〃 6. 7 〃 7.11 〃 8. 3 〃 8.5～ 10. 3	コンピュータ教室完成 北校舎屋上防水工事完成 機械警備開始 本館前舗装工事完成 障害者用便所新設工事完成 京都府教育委員会・井手町教育委員会指定教育実践パイロット校(同和教育)に委嘱される
杉　本　　勝 (平成 9. 4～13. 3)	〃 9. 5 〃 9. 8 〃 9.11 〃 10. 1 〃 11.10 〃 12. 8	体育館床改修、体育館排水設備改修 南校舎便所改修 京都府教育委員会・井手町教育委員会指定教育実践パイロット校(同和教育)研究発表(11月19日) 焼却炉廃止 50周年記念式典 コンピュータ機器更新
吉　川　博　文 (平成13. 4～17. 3)	〃 13. 5 〃 14. 8 〃 14.12 〃 15. 8 〃 16. 1 〃 16. 4	屋外バスケットボード改修 南校舎大規模改修　生徒昇降口設置 中庭整備 本館中校舎壁塗り替え 体育館屋根改修 学力向上支援事業(文部科学省指定)研究協力校(2年間)
駒　　好　修 (平成17. 4～20. 3)	〃 17. 8 〃 17. 9 〃 18. 4 〃 19. 8 〃 19.11 〃 20. 3 〃 20. 3	本館耐震補強工事及び視聴覚室・保健室空調設備設置 泉ヶ丘中ホームページ開設 「ジョイントアップ研究開発」推進校～平成19年度 コンピュータ機器更新(35台) 「ジョイントアップ研究開発」研究発表会(11月12日) 体育館改築竣工 学校図書館図書標準達成率100%達成
松　本　秀　男 (平成20. 4～ 23. 3)	平成 20. 9 〃 21. 8 〃 22. 3	空調設備設置(職員室・泉学級・南校舎3年2教室) 空調設備設置(南校舎1・2年4教室、多目的室3教室、図書館) 太陽光発電システム設置

学　校　長	年　月	主　な　事　項
松　本　秀　男 （平成20. 4～ 23. 3）	平成 20. 9 〃 21. 8 〃 22. 3	空調設備設置（職員室・泉学級・南校舎3年2教室） 空調設備設置（南校舎1・2年4教室、多目的室3教室、図書館） 太陽光発電システム設置
北　澤　義　之 （平成23. 4～　　）	〃 23.10 〃 23.11 〃 24.8 〃 24.8 〃 24.9 〃 24.11 〃 25.6～ 〃 25.7 〃 25.8 〃 26.8 〃 26.9	文部科学省委託「井手町学校施設エコスクール化調査研究委員会」設置に伴う調査研究開始 京都府教育委員会指定 「京の子ども、夢・未来校 （中学校学力向上実践校）」 研究発表 （平成22. 23年度） 本館トイレ改修工事完成 国際交流事業に係る姉妹校提携調印 フェンス整備工事完成 京都府中学校教育研究会　数学科研究大会 土曜日を活用した教育活動開始 男子バスケット部京都府大会優勝　全国大会出場 第1期留学生として、代表生徒がオーストラリアの姉妹校を訪問 大型スライダー黒板設置（普通教室） オーストラリアからの第1期留学生が本校を訪問

〔 3 〕教育方針

1　学校教育目標

基本的人権を尊重し、確かな見通しを持って主体的に生き抜く、心豊かでたくましい人間の育成

2　目指す生徒像

（1）心豊かで、明るく健康な生徒
（2）進んで学び、深く考える生徒
（3）自分と同じく、人を大切にする生徒
（4）判断力を高め、集団生活を高める生徒
（5）勤労を尊び、平和を愛する生徒

3　学校運営のビジョン

創立以来、人権教育を教育活動の柱とし、生徒一人一人の将来を見据え、社会的自立を促す実践が、本校の不易の教育目標である。そのため、豊かな人間性を育み、学力の充実・向上を図る教育活動を組織的に展開していくものである。

また、これからの教育は、幼児期から成人までを見通した井手町ならではの教育を地域社会総がかりで進めることが必要である。本町では、今なお、地域のコミュニティーがしっかりと根付いており、地域の教育力を活かし、将来のまちづくりを担う生徒を育成するために、学校と地域社会が協働して教育活動を進める仕組みを構築する。併せて、国際交流事業を通して、学校全体に国際理解教育を浸透させ、グローバルな視点と国際的な視野を持った生徒を育成する。学校生活の基盤となる規律と秩序を確保し、どの生徒も伸びる教育活動を進める。

教職員は、今日までの実践の精神を受け継ぎ、人権尊重の精神を高め、服務規律を確保し、日々の研鑽とともに次代の本校を担う教員の育成と活躍を目指す。

4　学校経営方針

学校のスローガン	誇り高き泉ヶ丘中学校を築こう
目指す学校像	学びたい学校、学ばせたい学校　－ 卒業してもぐんぐん伸びる生徒！－
学校ブランド	【学校】地域に開かれ、地域とともに歩む学校 【教師】生徒への丁寧な指導と親身な保護者対応 【生徒】爽やかな挨拶、すがすがしい集団行動、熱心な部活動
指導のスタンス	生徒一人一人の目線を大切に、大きな愛と手間暇かけた指導
研究実践のテーマ	その生徒に応じた学習支援とどの生徒も伸びる学習活動 － 生徒一人一人の願いの実現！－
運営の重点	（1）人権教育を基盤とした生徒の社会的自立の促進 （2）地域の教育力を活かし、地域とともに歩む学校づくり （3）教職員一人一人の資質向上と次代を担う教員の育成

5　本年度の主な事業

学力向上実践研究 【継続】	個別の支援とともに学習集団の育成、また外部人材の活用等による知的好奇心の高揚を図るなど、どの生徒も伸びる教育活動を推進する。
ｼﾞｮｲﾝﾄ･ｱｯﾌﾟ推進事業 【継続】	小・中学校間の円滑な移行を図り、義務教育期間を見通した「質の高い学力」の育成を図る。
まちづくり教育の推進 【継続】	地域社会と協働して教育活動を行う仕組みを構築し、地域社会の一員として将来のまちづくりに担う生徒を育成する。
海外派遣・国際交流事業 【継続】	グローバル社会の進展に対応し、姉妹校との交流を通して、学校全体の国際理解教育の浸透・充実を図る。
英検チャレンジ推進事業 【新規】	国際社会への対応に向けて、コミュニケーション能力とその基礎となる英語力を高めるために、英語検定試験を促進する。
土曜日活用実践研究事業 【継続】	土曜日を活用した教育活動を指導計画に位置付け、地域社会との連携を深めながら、学習意欲を高め、学力の充実・向上を図る。
京教大学院連携事業 【継続】	今日までの実践の手法や精神を次代を担う若者に伝え、そのことを通して教職員全体の資質向上を図る。

6　重点目標

望ましい生徒集団の育成 － 学力の充実・向上（学習集団）－	秩序と安心のある学校生活の維持
	役割と責任を自覚した集団活動の意識の醸成
	学び合い、高め合う学習集団の育成
どの生徒も伸びる学習活動の推進 － 学力の充実・向上（授業改善）－	補充的な学習サポートの定着
	学習意欲を高める授業の工夫改善
	一人一人の能力を最大限に伸ばす学習活動
個々のニーズ応じた支援の徹底 － 学力の充実・向上（個別支援）－	教育相談活動の推進
	個別の学習支援プログラムに基づく支援と進行管理
	ＰＤＣＡの手法を用いた学習サイクルの確立
人権尊重を基盤とした豊かな人間性の育成 － 人権教育の推進 －	実践力を培う系統的・計画的な人権学習の推進
	内面理解と心のふれあいを通したよりよい人格形成
	効果的な実践のための家庭・地域との信頼関係の構築
国際理解・コミュニケーション能力の育成 － 国際交流事業と英検チャレンジの推進 －	姉妹校との国際交流の効果的な実施と成果の普及
	国際交流事業の推進による国際理解教育の充実
	英検の促進によるコミュニケーション能力の育成
地域との協働による教育活動の推進 － まちづくり教育の推進 －	シティズンシップ教育の推進
	ふるさと学習の推進
	住民の地域貢献活動への理解と住民との交流促進
組織力の向上と教職員の資質向上 － 人材育成システムの構築 －	地域や家庭との信頼関係を構築する組織力の向上
	鋭い人権感覚と危機意識を持った組織運営
	人材育成の視点を持った学校運営

7　取組事項とその留意事項

（１）研究の推進		
	ア　学習指導	指導方法の工夫や外部講師の活用等による知的好奇心・活用力の向上
	イ　情報教育	積極的なＩＣＴ活用、情報モラルの徹底、及び積極的な情報発信
	ウ　図書館教育	学力の基盤としての読書活動や図書館利用の推進
	エ　総合的な学習	地域の教育力を活かした教育実践
	オ　人権・同和教育	人権意識の向上、及び家庭との信頼関係、地域との連携体制の構築
	カ　国際理解教育	国際交流の成果の普及、国際理解教育の浸透、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力の向上
	キ　道徳教育	心の教育の要としての道徳時間の活用
	ク　環境教育	家庭や地域の実態を踏まえた環境に対する実践的行動力の育成
（２）生徒支援の充実		
	ア　特別支援教育	特別支援教育の視点での個別支援、学習指導、及び生徒対応の推進
	イ　進路指導	地域人材を活用したキャリア教育の推進
	ウ　特別活動	リーダー層の育成、及び様々な場面で活躍できる集団の育成
	エ　生徒指導	信頼関係を基盤とした問題事象の未然防止とよりよい人格形成
	オ　教育相談	生徒の内面理解に基づく教育相談活動の実質的な機会確保と実践
	カ　健康教育	学校給食を中心とした食育の充実、及び基本的な生活習慣の徹底
	キ　安全教育	学校施設の安全管理、及び地域の特性を鑑みた防災教育の推進
（３）プロジェクトの推進		
	ア　学力保障実践研究	学力向上アクションプランの進行管理（別紙参照）
	イ　ｼﾞｮｲﾝﾄ・ｱｯﾌﾟ事業	校種間連携の推進、及び児童生徒間交流の活性化
	ウ　まちづくり教育	まちづくり教育推進プランの推進（別紙参照）
	エ　海外派遣・国際交流事業	国際交流の成果の普及、国際理解教育の浸透・充実
	オ　ｴｺｽｸｰﾙ化事業	エコスクール化の趣旨を踏まえた各教科・領域での環境教育の推進
	カ　人材育成推進事業	若手教員や教職を志望する者への指導・育成

[4] 生徒数

Ⅰ 学級生徒数

学校基本調査 平成26年5月1日現在

学年	学級	男子	女子	学級計	学年計
1	A	12	8	20	39
	B	11	8	19	
2	A	18	14	32	62
	B	16	14	30	
3	A	17	11	28	56
	B	17	11	28	
泉 学 級		2	0	2	2
計		93	66	159	159

Ⅱ 地区別生徒数

	1年	2年	3年	泉学級	計
南	8	9	12		29
北	5	10	9	1	25
石垣	4	10	7		21
玉水	7	10	4		21
水無	6	5	3	1	15
上井手・高月・有王	6	2	6		14
南部	1	6	3		10
東部	1	4	5		10
北部・西部	1	6	7		14
計	39	62	56	2	159

［5］年間行事計画

月	儀式的行事	学芸的行事	保健・安全的行事	体育的行事
4	離任式、着任式 1学期始業式 入学式		身体測定 聴力検査 尿検査	 綴喜春季大会
5		オープンスクール 憲法学習	心臓検診 歯科検診 内科検診 眼科検診 保健教室（1年）	
6			耳鼻科検診 血液検査 避難訓練・防災教育	綴喜陸上大会 山城陸上大会
7	1学期終業式		防犯・非行防止教室 性教育（3年） 食育教室（2年） 土砂災害学習（1年）	 綴喜夏季大会 山城夏季大会 京都府大会
8	2学期始業式			
9		第1期オーストラリアからの留学生来校	身体測定	体育大会
10		合唱コンクール	尿検査	綴喜新人大会 山城駅伝大会
11		人権フィールドワーク（3年）	避難訓練	京都府駅伝大会 グランドゴルフ大会（1年）
12	2学期終業式	人権月間 校内人権意見発表会	救急救命講習（3年）	校内マラソン大会
1	3学期始業式	百人一首大会		
2			食育教室（1年）	
3	卒業証書授与式 修了式	ふるさと学習（1年）		

月	旅行的行事	勤労的行事	生徒会行事
4			生徒会・部活動紹介 一斉委員会
5	校外学習（全学年）		委員会活動 あいさつ運動
6		環境月間	生徒会総会 環境月間 PTA合同挨拶運動
7		大掃除	委員会活動 全校集会
8		福祉体験学習 奉仕作業	綴喜中学生交流会
9			委員会活動
10			一斉委員会 あいさつ運動
11		職場体験学習（2年） 環境月間	環境月間 PTA合同挨拶運動
12		大掃除	委員会活動 全校集会
1			委員会活動
2			一斉委員会 PTA合同挨拶運動
3	修学旅行（2年） 校外学習（1年・3年）	大掃除 ふるさと学習（美化活動）	全校集会

〔6〕　教職員組織表

担　当	氏　名	教科	校務分掌	部活動	備考
校　長	北澤　義之				
教　頭	吉田　隆司				
教務主任	小松　裕志	社会	教　務	柔　道	
人権教育	宮田　勝	保体	人権教育	野　球	生徒支援加配
教育相談	小池　幸得	保体	教育相談	女子バスケット	生徒支援加配
１年主任	岡田　幸也	保体	人権教育	男子バスケット	生徒支援加配
１Ａ担任	杉山葉奈子	国語	図書館教育	バレーボール	
１Ｂ担任	仲野　大	英語	学習指導	サッカー	少人数学級加配
１年副担	岡田　充代	音楽	学習指導	文　化	小中連携加配
１年副担	永谷　晃一	数学	特別活動	ソフトテニス	
２年主任	三浦　清和	社会	研究主任	柔　道	生徒支援加配
２Ａ担任	中村　祐子	英語	国際理解	男子バスケット	
２Ｂ担任	北川　拓男	数学	学習指導	女子バスケット	少人数授業加配
２年副担	前田　拓哉	理科	安全教育	ソフトテニス	
３年主任	保田　勝	数学	進学主任	バドミントン	生徒支援加配
３Ａ担任	濱﨑　芳彦	技術	情報教育	野　球	
３Ｂ担任	武田　有史	保体	生徒指導主任	バレーボール	
泉　担任	水野　美佳	国語	特別支援教育	バドミントン	
３年副担	久保真紀子	英語	国際理解	文　化	
３年副担	小林　歩	理科	進路指導	バドミントン	生徒支援加配
養護教諭	石本美津子		健康教育		
事務職員	朝田　祥子				
教科補充	守山　美雪	美術			兼：心の居場所
教科補充	黒川美保子	家庭			
教科補充	清水　朋子	数学			兼：心の居場所
教科補充	中田　宏美	英語			兼：心の居場所
教科支援	古川　聖也	数学			兼：心の居場所
校 務 員	頴娃ちか子				
ＡＬＴ	ロバート・ラムノース				
まなび生活 ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ	仙田　富久				
スクール カウンセラー	山崎　貴子				
図書館司書	田中　典子				
給食配分員	大城　悠子				
学校医	水野　寿				
歯科医	辻　和孝				
薬剤師	粟田　恵				

学校給食センター

学 校 給 食 セ ン タ ー

１．学校給食の状況

当町では、昭和 42 年度新学期より、小学校２校・中学校１校合わせて 1,280 人を対象に児童・生徒の健全な心身の育成の為、完全給食を実施することになり、調理能力 2,000 食の給食センターが設置され運営されてきたが、施設の老朽化と給食内容の充実をはかるため、平成４年度に池ノ上地区に新しい施設の建設をはかり、平成５年度より、ドライシステム方式の採用と、炊飯・洗浄整備等をそなえた近代的な厨房機器を導入した給食センターが設置された。

２．学校給食センターの設置のねらい

学校給食において、特に児童・生徒の栄養の向上と精神的安定、給食業務の効率化、学校差の解消、学校事務負担の軽減、衛生管理の充実を図るためセンター方式を採用している。

３．献立調理について

献立は嗜好、栄養、経費、衛生、地域などを総合的に考慮して作成する必要があるため、２ヶ月毎に１回給食主任会を開き、センターと学校並びに各学校間の連絡を密にし、献立に変化をもたし学校給食を通じ地域社会の食生活の改善に努力している。

平成５年度より、オーブンや蒸器の導入により豊かな献立ができるようになった。また、食の安全に配慮し食物アレルギー体質の児童生徒については、毎月の献立表と食品成分表を対象の保護者と学校へ送り、アレルギー反応による問題が生じないよう連携を図っている。

４．物資購入について

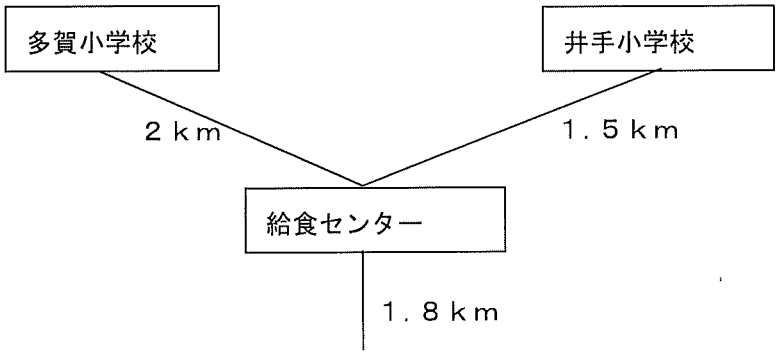
政府物資並びに添加物等については、給食会より購入し、その他の一般物資については、町商工会内に給食センター物資納入組合を組織し、この登録業者と物資取引契約を結び、新鮮で良質の物資納入に努めている。

５．保護者負担の軽減について

給食費については保護者の負担軽減を図るため、町より児童・生徒一人１食につき１７円の補助を受けて運営している。なお、給食費については、小学校は月額３，９００円、中学校は月額４，２００円を年間１０回徴収し、年度末に小・中学校別の調整額を徴収している。

６．輸送について

学校と給食センターが緊密な連絡をとりながら給食時間や学習等を考慮し、正確に所定の時間内に給食の輸送を行っている。



泉ヶ丘中学校

7．衛生管理について

調理室の衛生管理については調理室及び周辺の環境を常に清潔にし、食品及び調理機械器具を衛生的に管理し、食中毒・伝染病に注意すると共に保健所等の指導助言を受け、指定業者に対しても衛生管理の協力を得ている。

一方、調理員はもとより、各校配膳員・その他給食に携わる関係者は、毎月２回検便を実施し、調理作業時においては、被服・身体を清潔に保つよう特に努力している。調理機械器具食器類については、毎日洗滌の後完全消毒すると共に衛生上の点検を実施している。

8．米飯給食について

米飯給食に対する要望が高まるなか、本町においても順次その回数を増やし、目標としてきた週３回の米飯給食を平成５年度に達成することができた。

① 昭和 53 年９月より　　月１回実施
② 昭和 55 年４月より　　月２回実施（週 0.5 回）
③ 昭和 59 年９月より　　月６回実施（週 1.5 回）
④ 平成５年４月より　　月 12 回実施（週３回）
⑤ 平成 20 年４月より　　月 14 回実施（週 3.5 回）

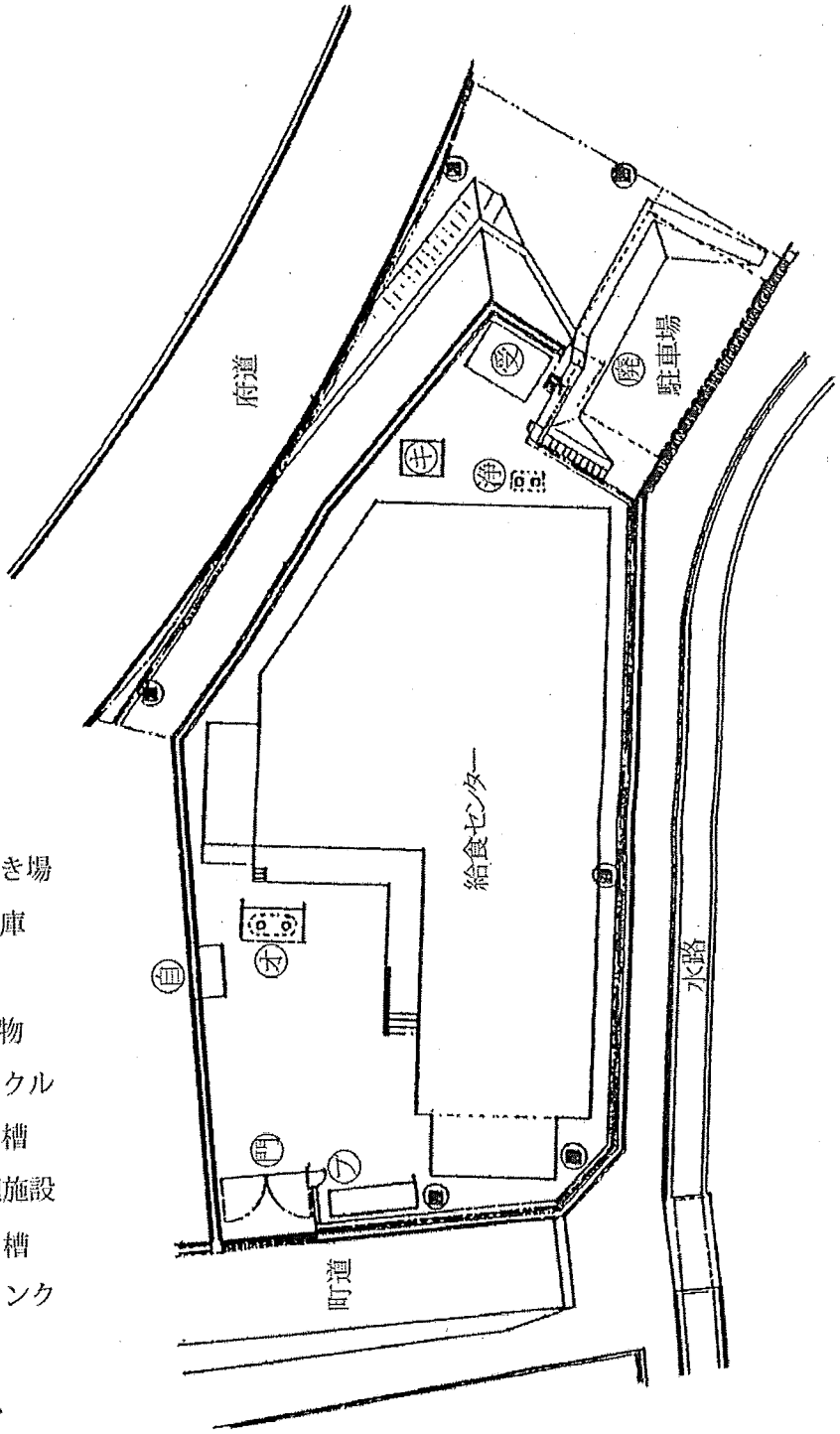
平成２６年度　　給食予定日及び回数

井手町立学校給食センター

	井手小学校			多賀小学校			泉ヶ丘中学校		
月	回数	開始日	終了日	回数	開始日	終了日	回数	開始日	終了日
4	１４	10 (木)		１４	10 (木)		１４	10 (木)	
5	２０			２０			１８		
6	２１			２１			２１		
7	１３		17 (木)	１３		17 (木)	１３		17 (木)
8小計	６８			６８			６６		
8	2	28 (木)		2		28 (木)	2	28 (木)	
9	１８			１９			１９		
１０	２２			２２			２１		
１１	１８			１８			１８		
１２	１４		18 (木)	１４		18 (木)	１２		17 (水)
小計	７４			７５			７２		
1	１６	8 (木)		１６	8 (木)		１６	8 (木)	
2	１９			１９			3年17回 1.2年19回		
3	１２		17 (火)	１２		17 (火)	3年4回 2年8回 1年10回		3年5日(木) 2年12日(木) 1年17日(火)
小計	４７			４７			3年37回 2年43回 1年45回		
合計	189			190			3年175回 2年181回 1年183回		

井手町立学校給食センター平面図

（平成５年４月設置）

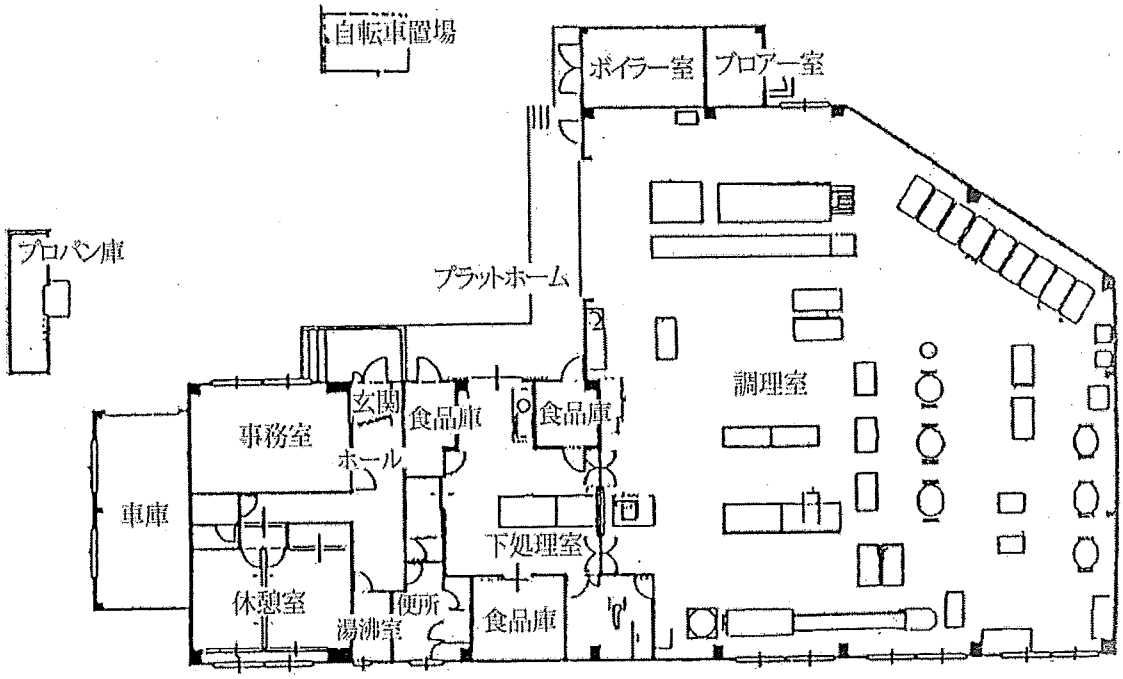


㊀ 自転車置き場
㋐ プロパン庫

建物以外の工作物

㋖ キューピクル
㊇ 受　水　槽
㊈ 廃水処理施設
㊉ 浄　化　槽
㋔ オイルタンク
㊊ 　　門
㊌ フェンス

機 器 配 置 図



施設の概要

・敷地総面積		1，456㎡
・床面積		
	調理室・事務室・休憩室・ボイラー室・車庫等	563．00㎡
	プロパン庫	6．68㎡
	自転車置場	5．60㎡
・構造		鉄骨造平屋建屋根フッソ樹脂鋼板葺
・調理能力		1，500食
・調理方法		ドライシステム
・廃水処理施設		長時間曝気方式
・廃水能力		30㎥／日

社会教育推進の重点

社会教育推進の重点

重点目標９　家庭の教育力の向上を図る

家庭をすべての教育の出発点と位置づけ、次代を担う子どもたちの健やかな育ちを支援するため、学習機会の充実を図るなど、家庭の教育力の向上に努める。

（１）豊かな心をはぐくむ学習機会の充実

○　生命を大切にする心、相手を思いやる心など豊かな心をはぐくむ家庭の教育力を高めるため学習機会の充実に努める。

（２）読み聞かせを通した家庭の教育力の向上

○　「井手町子どもの読書活動推進計画」に基づき、乳幼児期から本に親しめるよう、家庭における読み聞かせを通した家庭の教育力向上の支援を行う。

（３）家庭の教育力の向上のため関係機関・団体との連携

○　家庭の教育力を高めるため、保育園・学校・地域社会並びに関係部局と連携して保護者の学習活動を支援する。

事業や取組

○家庭教育学級(1)(3)
（井手町内の保育園と連携し、子育て講座、人権学習会、スポーツ交流大会などを開催する）
○家庭教育に関する情報提供及び学習支援(1)(3)
（保育園・学校等を通じて家庭教育に関する情報を提供し研修会や講演会などの学習活動を支援する）
○絵本の贈呈事業(2)
（絵本を介したコミュニケーションによって親子の絆を深め、図書に親しむ契機とする）
○図書館における読み聞かせ事業の計画と実施(2)
（本に親しむ感性を育て、本との自発的なかかわりを促す）
○読み聞かせに関わる図書館ボランティア養成事業(2)(3)
（読み聞かせ事業の質的向上を図り、併せてボランティアの意欲を喚起する）

重点目標１０　地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ

次世代を担う青少年が心身ともに健やかに成長することを重要な課題と捉え、家庭・地域・学校の各分野が相互に連携し、青少年の健全育成の総合的な取組を推進する。

（１）地域社会の力を活かした活動の充実

○　地域の人々の絆を強める取組を充実する。
○　地域の身近な人との交流や出会いを通して、社会や人とのコミュニケーション能力を高める。

（２）地域社会の教育力の向上

○　多様な生涯学習の成果を活かせる場や機会の提供など、地域の教育力向上にむけた取組を推進する。

（３）青少年の健全育成のための環境づくり

○　家庭、地域社会、学校や「井手町青少年を育てる会」をはじめとする関係団体と連携を深め、地域総がかりで青少年の健全育成に努める。

事業や取組

○井手町成人式の開催(1)
（井手町成人式実行委員会を立ち上げ、地域社会を挙げて祝福する式典を開催するとともに、新成人による自主的な運営を進める）
●総合型地域スポーツクラブ育成事業(1)(2)(3)
（地域の教育力を活用し、総合型地域スポーツクラブにおいて様々なスポーツ活動や農業体験などのふるさと体験活動を実施し、子どもたちのスポーツ能力の向上とともに、人づくり、まちづくりの充実を図る）
○まなび教室事業(1)(2)(3)
（「学習タイム」、「コーラスタイム」、「スポーツタイム」などの活動を地域の人々の協力のもとに実施し、地域で子どもをはぐくみ、子どもの安心・安全な居場所づくりを進める）
○井手町放課後児童クラブの開設(3)
（小学校で放課後児童クラブを開設し、保護者が労働等により昼間不在となる子どもに居場所を提供し、児童の安全と心身の健全な育成を図る）
○井手町青少年を育てる会との連携(3)
（「井手町青少年を育てる会」と連携し、「青少年の主張大会」、「サンタが町にやってくる」などの事業や啓発活動を通して青少年の健全育成を図る）
○井手町子ども会育成協議会との連携(3)
（「井手町子ども会育成協議会」と連携し、「フレンド交流会」、「地区子ども会活動」などの事業を通して、青少年の健全育成を図る）
○調べる学習地域コンクール事業の計画・実施と全国コンクールへの参加(3)
（図書館資料を活用した学習機会を学校と連携して設け、自ら探求し課題を解決する力を育てる）
○夏の工作教室の計画と実施(3)

（図書資料を活用して想像力や応用力を育て、夏休みの自由研究としての創作活動に取り組む）
○幼児対象事業の実施(2)
（「地元の図書館」を身近に感じる動機付けをする）
○井手町子どもの読書活動推進計画(3)
（「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、読書活動を啓発する施策や環境を整える）

重点目標１１　生涯学習の振興に向けて学習環境を充実する

生涯学習社会の実現にむけて、住民の生涯学習のさらなる振興を図るとともに、指導者の育成や環境の整備に努める。また、生涯学習の拠点となる山吹ふれあいセンター、図書館の整備を行う。

（１）生涯学習の推進

○　生涯学習の基盤となる自己学習能力の向上や人権尊重の意識を養い、健やかな心身をはぐくむため、学習機会や学習環境の充実に努める。

（２）学習施設の充実

○　生涯学習活動の拠点施設として、山吹ふれあいセンター・図書館の整備・充実を図る。

事業や取組

○「お井手やす　生涯学習へ ～井手町生涯学習情報～」の発行(1)
（生涯学習リーフレット「お井手やす」を月１回発行し、生涯学習活動のための情報提供を行う）
○井手玉川大学の開設(1)
（各老人クラブとの連携のもと運営委員を選出し、健康、音楽、人権などの講座を開催する）
○いづみまなび教室事業(1)
（手芸や大正琴など各種学習講座を開設し、多様な学習機会を提供する）
○山吹ふれあいセンター天文台の活用(1)
（天文台の公開、天文台だよりなどを通して山吹ふれあいセンター天文台の活用を図る）
○ブックポストの設置及び図書館出張貸出拡張事業(1)
（図書の返却・貸出の利便性を高め、利用機会の拡大を図る）
○山吹ふれあいセンターの整備(2)
（生涯学習の活動拠点として山吹ふれあいセンターの整備を行う）
○図書館資料の整備・充実(2)
（生涯学習の拠点として住民のニーズに応え、興味や関心、課題解決に資する資料等の充実に努める）
○図書館における調査・相談機能の強化(2)

（住民の持つ様々な課題に的確に応え、図書館を活用することの有益性を実感できるサービスを目指す）

重点目標１２　文化・スポーツ活動の振興を図る

井手町の文化・スポーツ活動のさらなる振興を図るとともに、関係団体と緊密に連携し、環境の整備に努める。
また、生涯スポーツの拠点となるグラウンド等の施設整備を行う。

（１）文化活動の振興

○　井手町文化協会と連携して、文化祭をはじめとする文化活動の振興を図るとともに文化協会加入団体の連携強化や新規加入の働きかけに努めるなど、積極的に支援する。

（２）生涯スポーツ・レクリエーションの振興

○　総合型地域スポーツクラブの育成を図るとともに、住民のスポーツ・レクリエーション団体活動を支援し、生涯スポーツ・レクリエーションの振興を図る。また、より多くの住民がスポーツ・レクリエーションに親しめるよう、活動の場の整備と機会の提供に努める。

○　住民のだれもが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて「いつでも」、「どこでも」、「いつまでも」取り組むことができる生涯スポーツを推進する。

○　井手町スポーツ推進委員会・井手町体育協会との連携をもとに、住民がスポーツに興味・関心をもてる機会や場の提供に努める。

（３）施設の整備・充実

○　生涯スポーツの拠点として、有王グラウンドをはじめとする各種グラウンドの整備を図る。

事業や取組

○井手町文化協会との連携(1)
（井手町文化協会と連携し、生涯学習の発表の場として井手町文化祭や作品展示発表会などの事業を行うと共に各種講演会などを通して文化活動の振興に向けた取組の充実を図る）

○各種サークルへの支援(1)(2)
（女性サークルや高齢者サークルなどに対して必要に応じた支援を行い、サークル活動の充実を図る）

●総合型地域スポーツクラブ育成事業(2)
（総合型地域スポーツクラブにおいて様々なスポーツ活動を実施し、子どもたちのスポーツ体験の裾野を広げるとともに、人づくり、まちづくりの充実を図る）

○井手町体育協会との連携(2)
（井手町体育協会と連携し、町民体育大会、井手町マラソン大会・町民ジョギング大会、高齢者スポーツ等の事業を行う）

○スポーツ推進委員会との連携(2)
（社会福祉協議会と連携したミニサロン等への出前スポーツ事業、スポーツ教室の実施、小学校への新体力テスト実施補助、体育協会との連携事業等を通して、生涯スポーツの充実を図る）
○各種住民グラウンドの整備(3)
（生涯スポーツの拠点となる各種住民グラウンドの整備・充実を図る）

重点目標１３　人権が尊重される共生社会の実現に向けた学習活動を推進する

「井手町人権教育・啓発推進計画」に基づき、同和問題をはじめとする様々な人権問題についての正しい理解と認識を深めるとともに実践力を高める学習や啓発活動を積極的に進める。
また、男女共同参画についての意識を養い、育て、男女がともに個性と能力を発揮する町づくりを目指す。

（１）人権教育と生涯学習との連携

○　生涯学習を推進する中で、今日的課題である基本的人権の尊重について、学習機会の提供に努め、人権尊重の精神を正しく認識できるよう、人権教育・人権啓発を推進する。

（２）男女共同参画社会の形成

○　男女がそれぞれの個性と能力を発揮し、自立と社会参加を果たせる男女共同参画社会を実現するため、家庭・地域・職場などあらゆる場で男女共同参画の取組を推進する。
○　男女共同参画の推進に向けた講演会を実施する。

事業や取組

○「井手町人権のつどい」の開催(1)
（１２月の人権週間にあわせて、様々な人権問題をテーマに住民、企業、職員を対象として講演会を開催する）
○「いづみふれあい学級」の開設(1)
（同和問題をはじめ子どもや女性の人権などをテーマに人権に関する講座を開催し、人権意識の高揚に努める）
○人権学習資料の収集と整理(1)
（人権学習に役立つ資料を収集し、提供することで人権意識啓発に役立てる）
○男女共同参画を推進するための啓発活動や情報提供(2)
（「井手町女性の船」との連携を深め、男女共同参画の視点にたつ講座の開催、国や府の男女共同参画に関する資料を住民にむけて提供する）

重点目標１４　地域文化・伝統文化の保全、継承、活用を図る

井手町の豊かな自然や貴重な文化遺産として残る文化財や伝統文化を、かけがえのない共有財産として守り、継承・活用を図る。

（１）文化財保護活動の推進

○　町内遺跡について調査を進め、重要な遺跡については調査成果をまとめ報告書を刊行し、その保護に努める。

○　「井手町文化財保護条例」の趣旨に基づき文化財を調査し、所有者などがその保護と活用に努めるよう理解と協力を促しながら井手町文化財の指定を進める。

（２）観光資源としての文化財の活用

○　「井手町ふるさとガイドボランティア」をはじめとする関係団体との連携を強化し、町内外との交流において文化財の積極的な活用を図る。

事業や取組

○埋蔵文化財の調査と活用(1)
（重要遺跡の調査や民間開発に伴う調査により、町内遺跡の現状を把握し、その保護に努め、出土品の展示活用を図る）
○文化財展示室の活用(1)(2)
（井手町の歴史・文化を紹介し、町の魅力を広報・発信することに努める）
○井手町関連資料の収集と整理(1)(2)
（井手町に関する資料を幅広く収集し、町の魅力の発信とその保存に努める）
○平和展及び水害展の計画と実施(2)
（井手町に残る苦難の記憶を発掘し、そこから立ち上がった先人たちの歴史を後世に伝える役割を担う）

社会教育関係の主な事業・取組

1　井手町文化協会

（1）趣　旨

住民の文化の充実と発展につとめ、芸術文化活動を通じ住民相互の親睦と交流を深めるとともに、歴史的遺産に恵まれた井手町の文化の創造を図り、活力ある町づくりに寄与する。

（2）平成２６年度　事業計画

事　業　名	期　日	場　所
井手町文化協会理事会	平成２６年 ４月９日（水）	山吹ふれあいセンター集会室
井手町文化協会総会	４月２２日（火）	山吹ふれあいセンター集会室
第４回ふれあいギャラリー	４月２６日（土） ４月２７日（日）	自然休養村管理センター ホール
山吹ふれあいコンサート （内容）第１部 ・きらきらランド少年少女合唱団 ・コーラスタイム ・テイネやまぶき ・エコーたちばな 第２部 ・サックス＆ピアノユニット 「ティーモ」コンサート	６月７日（土）	自然休養村管理センター ホール
井手町文化協会加盟団体 ・舞台発表　　踊り・大正琴 ・カラオケ大会	９月７日（日）	自然休養村管理センター ホール
文化講演会 ＜演題＞「南山城地域乃」遺跡と文化財―『南山城古寺巡礼展』を終えて」 ＜講師＞ 宮川禎一さん	１０月１０日（金）	山吹ふれあいセンター集会室
第３５回井手町文化祭 （内容）舞台発表・作品展示・模擬店 ＜各種催物＞ ①商工祭 ②農林業祭 ③健康のつどい ④青少年の主張大会 ⑤菊花展 ⑥人権啓発展	１１月１日（土） ２日（日）	自然休養村管理センター ホール 山吹ふれあいセンター 府立山城勤労者福祉会館

川柳教室	平成２７年 ２月　９日（月） １６日（月）	山吹ふれあいセンター集会室
古文書入門教室	２月２５日（水） ３月１１日（水）	山吹ふれあいセンター集会室

（３）　平成２６年度　井手町文化協会役員名簿

顧　　問　小川俊雄
会　　長　福田宏司
副会長　森田正弘　・　山本元嗣
事務局長　仁木鉄茨
庶　　務　中谷義一　・　木田和代
会　　計　小川成美
理　　事　窪田　継　・　赤山一男　・　河本　保
　　貸谷源三郎　・　木田　守　・　汐見由紀子
　　森川綾美　・　八木久美子　・　山本京子
　　前田一明
監　　査　大西敏彦　・　寺島洋子

（４）　平成２６年度　加盟団体・サークル

俳句井手つれづれ句会	賀泉苑俳句会	書游会
高齢者サークル書道（多賀）	老人クラブ料理	翔の会（絵画クラブ）
泉写そう会「井手」	泉写そう会「多賀」	高齢者サークル華道部井手
多賀老人クラブ華道部	Ｓ２８－６カラオケサークル	ＪＡおどりサークル
房美会多賀教室（踊り）	房美会玉水教室（踊り）	山吹茶道会
南山吹老人クラブカラオケサークル	石垣カラオケクラブ	水無カラオケ同好会
カラオケ同好会「多賀」	高月カラオケ同好会	北区カラオケサークル玉川クラブ
泉謡会	井手町詩吟同好会	エコーたちばな
テイネやまぶき（コーラス）	音楽サークルじぃくれふ	押し花アートすみれ
陶芸工房山吹	井手町菊花会	水墨画（和会）
井手町歴史愛好ロマン会	さわらびダンスサークル	アメリカンフラワー
「手芸を楽しむ」	日本習字多賀教室	水明書道多賀支部
奏～かなで～	大正琴サークル美音会	井手町まちづくり塾
井手川柳会　美玉川	井手町民俗芸能保存会	井手町女性の船
玉川の名水を守る会	井手町ふるさとガイドボランティアの会	井堤保勝会
南部源氏ボタルを守る会	青谷川の多賀堤を美しくする会	南谷川桜を守る会
カジカガエル保護友の会	きらきらランド少年少女合唱団	お井手やす応援隊
茶道・華道教室	カラオケサークル　花	

2　井手町体育協会

（1）目　的

井手町体育協会は、健全な体育・スポーツを普及・振興し町民の体力と健康の増進、あわせて親睦と協調をはかり、明るい町づくりに貢献することを目的とする。

（2）平成２６年度　井手町体育協会本部名簿

本部役員

会　長	山本一男					
副会長	大西敏彦	・	西島正道			
理事長	松本　修					
副理事長	上島勝廣	・	中坊正篤			
庶　務	小川眞弓	・	平間孝善	・	植田郁子	
	門司耕寛	・	三木美佳	・	火宮恵美子	
会　計	中坊　豊	・	山本竜也			
監　事	奥田恭子	・	脇本佳彦			

常任理事

森川健太	西島誉晃	中坊　淳	汐見　晃
高木裕幸	廣田隆志	中谷忠樹	脇本尚憲
窪田明夫	田中清和	関西浩二	横田純一
木田須美代	吉川清久	杉山弘明	前田正直
柏原久美	横田春雄	相川義介	岩瀬麻衣
中谷孝二	木田重治	稲見道博	
栗田善嗣	古川幸子	岩城喜和	

（3）　平成２６年度　事業計画

井手町体育協会関係			
行事名	日時	場所	備考
井手町体育協会総合開会式 町長旗争奪ソフトボール大会	平成２６年 ４月２０日（日）	泉ケ丘中学校グラウンド	（雨天）泉ヶ丘中学校体育館 （ソフトボール）雨天中止
町民フットサル大会	４月２７日（日）	府立山城勤労者福祉会館	
町民バスケットボール大会	５月２５日（日）	府立山城勤労者福祉会館	練習　５月２４日（土）
町民バレーボール大会	６月　１日（日）	府立山城勤労者福祉会館	練習　５月３１日（土）
町民ゲートボール大会	６月　８日（日）	井手町ゲートボール場	
町民ボウリング大会	６月２２日（日）	スーパーボウル城陽	
町民バドミントン大会	８月３１日（日）	府立山城勤労者福祉会館	
町民グラウンドゴルフ大会	９月　７日（日）	玉川砂防公園	
第４３回町民体育大会	９月２８日（日）	泉ヶ丘中学校グラウンド	予備日１０月　５日（日）
秋季町民ソフトボール大会	１０月１９日（日）	泉ヶ丘中学校グラウンド	雨天中止
第９回井手町マラソン大会 及び　第２３回町民ｼﾞｮｷﾞﾝｸﾞ大会	平成２７年 １月１８日（日）	自然体養村サブセンター	
町民ソフトバレーボール大会	２月　８日（日）	府立山城勤労者福祉会館	

井手町体育協会クラブ関係			
行事名	日時	場所	備考
春季軟式野球大会 夏季軟式野球大会 秋季軟式野球大会	４月２７日（日） ５月４日（日）・１１日（日） ６月２９日(日)　７月６日(日) １１月１６日（日）・２３日（日）	井手町住民（有王） グラウンド	
町長旗争奪少年野球大会	６月１日（日）～７月６日（日）	新四郎山グラウンド	
家庭婦人バレーボール交流会	６月１５日（日）	府立山城勤労者福祉会館	練習６月６日（金）

京都府民総体関係			
行事・競技名		日時	場所・備考
バスケットボール競技	男子 女子	８月３０日（土）・３１日（日） １１月１５日（土）・１６日（日）	宇治市（山城総合運動公園体育館） 京都市（ハンナリーズアリーナ） （横大路運動公園体育館）
バレーボール競技	男子 女子	１１月　８日（土） １１月　９日（日）	亀岡市（亀岡運動公園体育館） 南丹市（口丹勤労者福祉会館）
卓球競技		１１月１６日（日）	福知山市（三段池公園体育館）
軟式野球競技		１０月２６日（日） １１月　２日（日） １１月　９日（日）	宇治市 （山城総合運動公園野球場） （府民スポーツ広場みどりヶ丘）
バドミントン競技		１１月　９日（日）	南丹市（口丹波勤労者福祉会館）
ソフトボール競技	男子 女子	１０月１２日（日） １０月１９日（日） １０月２６日（日）	京丹後市 （丹波自然公園） 予備日　１１月　９日（日）
ボウリング競技		１１月　９日（日）	福知山市（サンケイボウル）
ゲートボール競技	男子 女子	１１月２３日（日） １１月２３日（日）	京丹波町 （丹波自然公園陸上競技場）
グラウンドゴルフ		１１月　３日（月・祝）	亀岡市（亀岡運動公園陸上競技場）

市町村交流種目大会	日時	場所・備考
卓球バレー	１０月１９日（日）	京都市（障害者教養・文化体育会館）

3　井手町青少年を育てる会

（1）趣　旨

青少年が心身ともに健やかに育つことを促進するとともに、青少年の健全な成長を阻害する恐れのある環境または行為から青少年を保護し、もって青少年の健全育成を目的とする。

（2）　平成２６年度　事業計画

月	日	曜	事　業　名	場　所
5	8	木	理事並びに支部長会議	山吹ふれあいセンター
5	20	火	総　会	山吹ふれあいセンター
6	2	月	綴喜地区青少年問題連絡協議会長会議	京都府田辺総合庁舎
7	1	火	青少年健全育成啓発活動	ＪＲ玉水駅・ＪＲ山城多賀駅
7	5	土	フレンド交流会	自然休養村管理センター
7	10	木	青少年健全育成連絡会(紙上)	山吹ふれあいセンター
7	18	金	綴喜地区青少年問題連絡協議会総会	京都府田辺総合庁舎
7	18	金	子どもの安心・安全セミナー	京都府田辺総合庁舎
夏休み中 毎週土曜日			多賀地区青少年健全育成パトロール	多賀地区
夏休み中 毎週日曜日			青少年健全育成パトロール	石垣区
10	14	火	理事並びに支部長会議	山吹ふれあいセンター
11	1	土	青少年健全育成啓発活動	山吹ふれあいセンター周辺
11	1	土	第30回井手町青少年の主張大会	自然休養村管理センター
12	24	水	サンタが街にやってくる	町内全域
1	9	金	綴喜地区青少年問題連絡協議会長会議	京都府田辺総合庁舎
1	18	日	第31回綴喜青少年の主張大会	宇治田原町
2			正副会長会議	山吹ふれあいセンター
3			理事並びに支部長会	山吹ふれあいセンター

（3）平成 26 年度　役員理事支部長名簿

役員理事

顧　問	小　川　俊　雄
会　長	西　田　和　正
副会長	西　澤　　武
副会長	大　西　治　将
会　計	武　田　幸　一
監　事	上　島　勝　廣
監　事	八　木　　昇
理　事	山　岡　良　充
理　事	西　島　豊　広
理　事	前　田　光　春
理　事	中　坊　弘　道
理　事	南　本　忠　宏
理　事	薮　田　信　隆

支部長

北支部長	中　村　義　美
南支部長	西　島　藤　彦
石垣支部長	河　本　　保
玉水支部長	寺　島　正　直
水無支部長	小　泉　里　志
高月支部長	松　尾　隆　次
上井手支部長	前　田　一　明
田村新田支部長	森　田　正　幸
東部支部長	北　川　正　徳
西部支部長	奥　田　英　夫
南部支部長	八　木　　昇
北部支部長	谷　口　雅　幸

4　子ども会育成協議会

（1）趣　旨

本会は、町内各区子ども会活動の健全育成を図るとともに、子ども会リーダを育成し、より活発な子ども会活動を推進することを目的とする。

（2）平成２６年度　事業計画

月	日	曜	事　業　名	場　所
5	1	木	第１回子ども会育成委員会	山吹ふれあいセンター
6	11	水	フレンド交流会合同打合せ	山吹ふれあいセンター
6	25	水	第２回子ども会育成委員会	山吹ふれあいセンター
7	5	土	フレンド交流会	自然休養村管理センター
9	28	日	第４３回町民体育大会 （子ども会地区対抗リレー）	泉ヶ丘中学校
3	4	水	第３回子ども会育成委員会	山吹ふれあいセンター

（3）平成２６年度　子ども会育成委員会役員名簿

地区名	氏　名	地区名	氏　名	地区名	氏　名
南	藤本真由美	水無	土屋ゆかり	西部	髙山　幸子
南	西島真由美	水無	平尾　華代	西部	泉尾　晴美
北	西田　実花	高月	西岡　宏子	南部	宮部　恵美
北	西島　浩子	高月	石井　育美	南部	吉岡　育子
玉水	森山　綾	上井手・田村新田	坂井　弥生	北部	脇本　亜矢
玉水	平山　加奈	上井手・田村新田	寺島　敬子	北部	川村美佳子
石垣	櫻井　葉子	東部	山本　彩		
石垣	河本　朋弥	東部	笠原　康代		

5　まなび教室事業（きらきらランド）

（1）目　的

子どもたちを地域社会の中で心豊かで健やかに育てるため、多くの住民協力のもと、子どもたちの安心・安全な居場所としての学校や公共施設等を利用して、様々な体験活動や学習活動等の取組を行う教室である。この教室を通して、子どもたちの学ぶ意欲・健康な体と地域コミュニティの充実を図っていく。

（2）平成２６年度　事業計画

・多賀小学校の全児童を対象とし、毎週水曜日の放課後と土曜日に、以下の３つの活動を実施。
・会費は年間 800 円（保険料）で、教室参加は原則無料。（＊材料費等は別途徴収。）

①コーラスタイム
・毎月２回程度、水曜日の放課後に、きらきらランド少年少女合唱団として合唱活動に取り組む。
・山吹ふれあいコンサート、井手町文化祭の他、「やましろのタカラフェスティバル」にも出演。

②学習タイム
・毎月２回程度、水曜日の放課後に、体験学習・文化活動に取り組む。
　読み聞かせ、おかしづくり、オセロゲーム、けん玉、百人一首、グラウンドゴルフ、折り紙、プラ板づくり、茶道、英語活動など
・夏休み期間中の活動には、親子で参加できる教室を計画。
・京都府教育委員会の「特別講師派遣事業」や「子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業」等も活用。

③スポーツタイム
・毎月１～２回、土曜日の午前中に、ＩＤＥゆうゆうスポーツクラブの活動との連携でスポーツ教室などを実施。

（3）平成２６年度　運営委員名簿

運営委員長	森田　正弘			
副運営委員長	山本　純子			
運営委員	栗田　善嗣	中川　久惠	巽　　敦予	寺田　恭章
	相川　義介	北川　正徳	櫛橋　卓仁	
コーディネーター	奥田　恭子			

6　総合型地域スポーツクラブ（ＩＤＥゆうゆうスポーツクラブ）

（1）目　的

総合型地域スポーツクラブとして、地域の人的資産を活用し、様々なスポーツ活動や自然体験活動などを実施し、子どもたちのスポーツ能力の向上とともに、人づくり・まちづくりの充実を図る。

（2）平成２６年度　事業計画

①総合型スポーツ教室

・毎月２回程度、土曜日の午前中（9:30～11:30）に、町内の小学校や山城勤労者福祉会館等を使用して実施する。＜バドミントン、バスケットボール、サッカー、ラクロス、ソフトバレーボールなど＞

・１年間を、第１ステージ（４月～６月）、第２ステージ（７月～９月）、第３ステージ（10月～12月）、第４ステージ（１月～３月）の４つのステージに分け、ステージごとに申し込みを募り、参加者を集約して活動する。

・会員から年間2,800円の会費（うち800円は保険料）を徴収し、各教室への参加は原則無料。会員外の参加も可能だが、各回300円程度の参加費を徴収する。

②井手町の自然環境を生かした体験活動等

○ふるさと農園活動：

黒大豆の栽培（６月中旬植え付け～10月下旬収穫）、もち米の田植え（５月下旬）・稲刈り（10月上旬）、しめ縄づくり・もちつき大会（１２月中旬）

○ふるさと探険：タケノコ掘り（４月下旬）、ホタル幼虫調査（４月下旬）・成虫調査（６月中旬）

○野外体験活動：ゆうゆうアドベンチャー（７月下旬）、ネイチャーゲーム（年間５回）

③特別事業

○トップアスリート派遣事業を活用したスポーツ教室の開催（年間１～２回）

○ゆうゆうマリン･アドベンチャー＜漁業体験他＞（11月中旬）

○ゆうゆうスキースクール（３月上旬）

（3）平成２６年度　運営委員名簿

運営委員長	村田　忠文			
副運営委員長	山本　一男			
クラブマネージャー	中田　邦和			
運営委員	栗田　善嗣	小川　淳一	田村　喜代一	杉山　弘明
	相川　義介	田中　保美	西島　寛道	八木　宏行
	岩本　麻子	上杉　慶子		
会計監査	石本　茂男	清水　敏継		
コーディネーター	西村　好史			
顧　　問	奥西　康人			

井手町立山吹ふれあいセンター

近年、長寿化や労働時間の短縮化をはじめ、余暇の増大とともに住民の多様な学習ニーズに対応できる生涯学習施設として、また幼児から高齢者まで幅広い住民の文化活動及びコミュニティ活動の場として図書館を完備した各種学習室などを設けています。

〈施設の概要〉

図書館

1　面　積　　621.66 ㎡

(内訳)	開架面積	332.79 ㎡	幼児コーナー	19.05 ㎡
	カウンター部分	17.47 ㎡	書　庫	47.38 ㎡
	倉　庫	20.70 ㎡	車　庫	18.92 ㎡
	ロッカー室	5.40 ㎡	便　所	35.85 ㎡
	風除室・展示ロビー等共用部分			124.1 ㎡

2　資料

(1)図書資料

一般書	55,532 冊	児童書	24,952 冊	計	80,484 冊

紙芝居　771 タイトル

(2)新聞・雑誌等

新　聞	7 紙	雑　誌	58 誌

(3)視聴覚資料

ビデオテープ(ＶＴＲ)	2,038 点
デジタルバーサタイルディスク(ＤＶＤ)	2,705 点
コンパクトディスク(ＣＤ)	3,039 点
カセットテープ	142 点
レーザーディスク(ＬＤ)	258 点
計	8,182 点

3　利用案内(平成 26 年 4 月 1 日)

開館時間　4 月～9 月　午前 10 時から午後 6 時まで

10 月～3 月　午前 10 時から午後 5 時まで

休 館 日　毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）

国民の祝日及び休日の翌日

（ただし土日の場合は開館／5 月は翌週の火曜日以降）

年末年始（12 月 27 日～翌年 1 月 4 日）

資料整理日（毎月最終の木曜日／当日が休館日に当たるときは翌日）

特別整理期間（10 日以内）

館外貸出・登録　町内に在住、または通勤の方ならどなたでもできます。
また、木津川市及び相楽郡(精華町・笠置町・和束町・南山城村)に在住の方で、お住まいの自治体の図書館(室)で利用者登録をされている方も可能です(広域個人貸出)

貸出点数・期間(一人当たり)

図　書	12冊	2週間	
雑　誌	5冊	2週間	(バックナンバーのみ)
視聴覚資料	3点	1週間	(CD・ビデオ・DVD・カセット)

※視聴覚資料の貸出は、井手町に在住・在勤の方に限ります。

★利用案内などの詳細については、「お井手やす」「図書館カレンダー」「図書館ホームページ」に掲載しています。なお井手町に在住・在勤の方はインターネットによる予約が可能です。

集会室

面　積　111.75㎡
収容人員　テーブルセット　70席　　椅子席のみ　120席
設　備　音響設備一式・仮設ステージ・グランドピアノ等
用　途　講演会・研修会・ミニコンサート・コーラス・カラオケ・映画鑑賞
その他視聴覚学習等

創作室

面　積　89.98㎡
収容人員　30席
設　備　木工・金工・竹工・染色・七宝焼・彫刻・レザークラフト用具一式等
用　途　趣味や特技を磨く各種創作活動等

和　室

面　積　42.93㎡
収容人員　20人
設　備　茶道・華道・囲碁・将棋用具一式
用　途　趣味や特技を磨く諸活動等

研修室

面　積　22.83㎡
収容人員　10人
用　途　少人数の研修・会議・学習等

天体ドーム

面　積　14.37㎡
収容人員　15人
設　備　口径35㎝反射望遠鏡
用　途　天体観測及び自然・環境学習

井手町立住民グラウンド

＜施設の概要＞

井手町立有王グラウンド

所在地　　井手町大字多賀小字一の谷 17 の 1・18 の 1・19 の 1 番地
面　積　　8,368m^2

井手町立新四郎山グラウンド

所在地　　井手町大字井手小字新四郎山 28・29・33・34・35・36 番地
面　積　　3,450m^2

文　化　財

1　文化財展示

井手町文化財展示室

（1）開　設　　平成 20 年 11 月

（2）場　所　　自然休養村管理センター内（山背古道脇）

（3）展示内容

＜１階展示室＞　　町内遺跡出土遺物展示、企画展示スペース

＜2 階展示室＞　　古文書、民俗資料展示

（4）開館時間　　平日 10 時～17 時（入場 16 時 30 分まで）

（5）入場無料

（1 階展示室）

（2 階展示室）

2　文化財発掘状況

（1）井手寺跡

井手寺跡は、京都府綴喜郡井手町大字井手小字東高月、西高月、栢ノ木に所在する。井手寺は奈良時代天平期の聖武天皇治下で活躍した橘諸兄が創建した橘氏の氏寺と考えられている。しかしながら、その存在は知られているものの、具体的位置や、規模、伽藍配置などは不明のままであった。平成１３年度、道路拡幅に伴い初めて本格的調査が実施され、１５年度から２期９年間の発掘調査で伽藍配置の一部が判明し、府道北側、寺域東端では礎石と雨落ち溝を良好に残す僧坊と推定される建物と、さらに他の建物へと続く軒廊跡が出土した。平成２５年度に発掘成果をまとめた報告書を刊行。

（井手寺跡の石敷き＜石畳＞）

（僧坊推定建物跡）

（僧坊推定建物の礎石と雨落ち溝）

（２）石橋瓦窯跡

石橋瓦窯跡は京都府綴喜郡井手町大字井手小字石橋、清水に所在する。井手寺跡の東約４００ｍの玉川右岸の斜面地に、平成 14 年度の調査で２基の窯跡と灰原が発見された。その出土瓦の型式から、平城京大安寺に瓦を供給した窯跡であり、『大安寺伽藍縁起并流記資材帳』に記された「棚倉瓦屋」と位置付けられた。文献資料と発掘調査両面からその存在が確認される稀な結果となった。平成１７年度、国の史跡指定（史跡大安寺旧境内附石橋瓦窯跡）がなされ、さらに、遺跡の範囲確認調査を実施し、平成２５年度に西側範囲が追加指定された。今後、保存活用にむけ検討していく予定である。

（ 石 橋 瓦 窯 跡 ）

① 国指定史跡(追加指定、名称変更)

種別	名称	所有者	年代	指定等年月日
追加指定 名称変更	大安寺旧境内附 石橋瓦窯跡	井手町	奈良	平成18／1／26
追加指定	大安寺旧境内附 石橋瓦窯跡	井手町	奈良	平成26／3／18

② 京都府指定・登録文化財一覧

＜建造物＞

種別	名称	所有者	年代	指定等年月日
指定	高神社本殿	高神社	慶長９年	昭和58／4／15
登録	玉津岡神社 (本殿・末社大神宮社)	玉津岡神社	貞享４年	昭和59／4／14

＜美術工芸＞

種別	名称	所有者	年代	指定等年月日
指定	高神社文書(5通)	高神社	鎌倉～江戸	昭和59／4／14
登録	木造獅子頭	高神社	鎌倉	昭和59／4／14

＜史跡名勝天然記念物＞

種別	区分	名称	所在地	指定等年月日
指定	天然記念物	地蔵院の シダレザクラ	井手・東垣内	昭和62／4／15

＜環境保全地域＞

名称	所在地	決定年月日
高神社文化財環境保全地区	多賀・天王山	昭和58／4／15
玉津岡神社文化財環境保全地区	井手・東垣内	昭和59／4／14

＜文化的景観＞

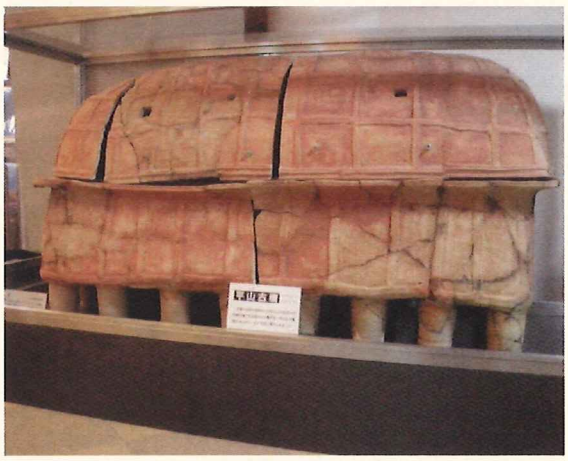
種別	名称	所有者	年代	選定年月日
選定	大正池とその水源 かん養林景観	井手町	—	平成21／3／24

③ 井手町指定文化財一覧

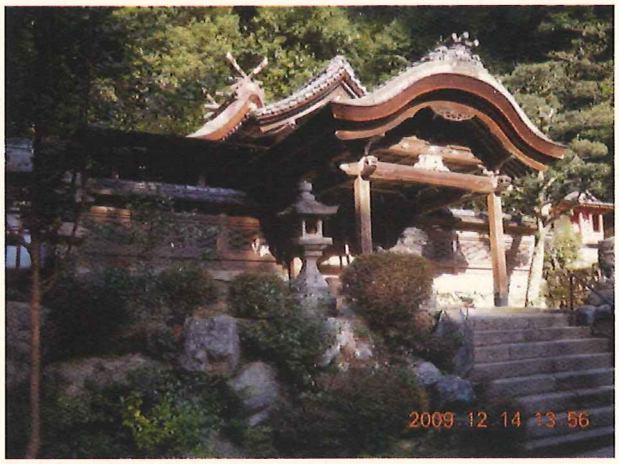
種別	名称	所有者	年代	指定等年月日
有形文化財 工芸品	平山古墳出土品 陶棺　１棺 須恵器　３２点 鉄鏃　１８点 その他　１６点	井手町教育委員会	古墳時代後期	平成9／9／5
有形文化財 彫刻	木造（伝） 聖観音菩薩立像	宗教法人 遍照山西福寺 代表、住職 八幡覚堯	平安時代	平成10／11／18
有形文化財 美術工芸品、 歴史資料	おかげ踊り絵図	多賀郷土史会	江戸後期	平成25／3／25
史跡・名勝 天然記念物	井手の玉川堤の 山吹	河川管理者 ・田辺土木事務所長 ・井手町長	奈良時代中期～	平成12／2／15

井手町内文化財等

（史跡　大安寺旧境内附石橋瓦窯跡）



（井手町指定文化財　平山古墳出土陶棺）



（京都府登録文化財　玉津岡神社本殿）

（京都府指定文化財　高神社本殿）

（京都府選定文化的景観　大正池とその水源かん養林）

（京都府指定史跡名勝天然記念物
地蔵院のシダレザクラ）

（井手町指定史跡・名勝天然記念物
井手玉川堤の山吹）

（井手町指定文化財・おかげ踊り絵図）

（井手町の花・山吹）

関　係　機　関　等　一　覧

井手町役場（町長部局）	井手町大字井手小字南玉水６７	代表　８２－２００１
		FAX　８２－５０５５
井手町教育委員会事務局		
学校教育課	井手町大字井手小字二本松２－１	８２－４３３３
	（自然休養村管理センター内）	FAX ８２－５３３２
社会教育課	井手町大字井手小字二本松３－１	８２－５７００
	（山吹ふれあいセンター内）	FAX ８２－５７０１
井手町図書館	井手町大字井手小字二本松３－１	８２－５７００
	（山吹ふれあいセンター内）	FAX ８２－５７０１
井手町立学校給食センター	井手町大字井手小字池ノ上５２－１	８２－３６１７
		FAX ８２－３６１７
井手町立井手小学校	井手町大字井手小字野神３８	８２－２１１９
		FAX ８２－２２２６
		http://www.kyoto-be.ne.jp/ide-es/
井手町立多賀小学校	井手町大字多賀小字内垣内２０	８２－２１１２
		FAX ８２－２３４４
		http://www.kyoto-be.ne.jp/taka-es/
井手町立泉ヶ丘中学校	井手町大字井手小字橋ノ本２０	８２－２０７０
		FAX ８２－２２０１
		http://www.kyoto-be.ne.jp/izumigaoka-jhs/